Kansai University Alumni Association News

關大

第581号
平成26年(2014年)5月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会
〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL http://www.kandai-koyukai.com/
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

第102回定時代議員会開く

平成26年度事業計画と収支予算案を承認
校友総会は10月19日(日)BIGホール100で開催

シンガポール千里会と交歓　学縁結ぶ

天神祭船渡御に「関大丸」就航

7月25日(金)夕刻、乗船者募集!!

関西大学創立130周年記念事業

「実行計画」と「募金計画」を発表

BIGホール100で行われたスプリングフェスティバルの歓迎セレモニー

関大　581号　目次

本部活動

1　第１０２回定時代議員会を開催
平成２６年度事業計画と収支予算案を承認
校友総会は10月19日（日）に開催に
平成26年度事業計画（案）・収支予算（案）＝普通会計
シンガポール千里会と交歓　学縁結ぶ
寺内会長ら10人が訪問、現地吉野会長ら7人と歓談
天神祭・船渡御（7月25日）「関大丸」乗船者募集!!

大学・学生関係

8　創立１３０周年記念事業
「実行計画」と「募金計画」を発表
記念事業総額４０億円、募金目標額は２０億円
6900余人の新関大生が誕生―平成２６年度入学式を挙行
高橋・織田・町田３選手を学長表彰
ソチ五輪応援感謝しトークイベントも開催

17　おめでとうございます―春の叙勲・褒章受章者

18　２０１４スプリングフェスティバル
肌寒い1日ながら全国から4000人集う
各団体の総会等開催報告（校友会登録組織を中心に）

30　海外支部だより　校友トピックス

32　北から南から＜各地支部だより＞

41　新刊紹介　校友短信　訃報

43　オース！ごきげんさん。（44）
大阪フィルと私―石井　博和（上）

44　会と催し

樽酒を参加者にふるまう寺内会長ら

■関西大学校友会ホームページ

http://www.kandai-koyukai.com/

葦の雫

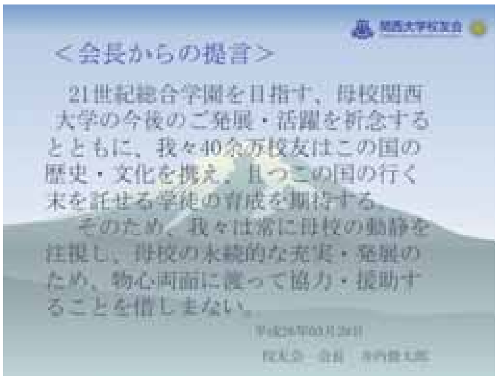
毎年、1月の初めに日蓮宗の僧侶の講和を拝聴しております。その中よりご紹介させていただきます▼釈尊は「この世で最大の殺生は、時を無駄にすることだ」と説きました。いわば「時は生命」であり、生命と同様に大切にしなくてはならないものだということです。僧侶いわく「時を大切にすることによって身に付く力」というものがあるそうです。それは「時間力」「時観力」「時感力」「時慣力」と呼んでいます▼「時間力」とは「間」を大切にする心です。「間」とは、気（け）じめであり、時間を大切にすることは気じめを大切にするということです。時間を大切にする姿勢が、気じめを大切にする姿勢につながり、それは責任感を身につけることにもつながります▼次に「時観力」。観は拝む、掴むという意味があり、朝、昇る太陽に対して誓いの祈りをし、夕方、沈む太陽に対して感謝の祈りをする。誓うということは、自分で目標を立てるということであり、感謝するということは、目標の達成を喜ぶということである。時を大切にし、時に祈りをささげることで無気力な状況に陥らずに済むのです▼三つ目の「時感力」は、感動する力です。今、この瞬間の自分の体験を大切にする心。「今日は良い人と出会った」「すごく良いものを見た」そんな感動を大切にする力です▼そして最後の「時慣力」とは、日常の繰り返しに飽きない力。「くり返す　ほかに術なし水車」（小室日祈）。私自身も人生の折り返し地点をまわって、限りある時間を意味のあるものにしたいものです。

第１０２回定時代議員会を開催

平成26年度事業計画と収支予算案を承認

校友総会は10月19日(日)に開催

第１０２回定時代議員会が、３月２９日午後１時から千里山キャンパス・１００周年記念会館で開催され、全国各地から７３０余人が出席、平成２６年度事業計画案、収支予算案について慎重審議の結果、原案通り可決承認した。



総務部の草川大造副部長、林紀美代部員の司会で定刻に開会。植田芳光副会長の開会挨拶、学歌斉唱の後、物故校友・大学関係者と東日本大震災で犠牲になられた多くの方々の冥福を祈り、黙祷が捧げられた。

来賓紹介があり、寺内俊太郎校友会長が挨拶。寺内会長は、まず「第１０２回定時代議員会を池内理事長、楠見学長、そして諸先輩など多くの方々の出席のもと開催できることを、素晴らしく思うと共に、母校関西大学のパワーを感じている。熱き思いを持った代議員の皆さんは、物心ともに母校を支えようと一つの絆に結ばれた方々の集まりだと思う。また、代議員会は、代議員の皆さんに共通の認識を持っていただくコミュニケーションの場でもあると思う。１３０周年に向けて我々の歩みの方向性を掴んでいただきたい」と述べ、パワーポイントを使って、昨年10月の校友総会から今日までの大学の状況や校友会の会務、活動を紹介した。

紹介は、校友総会での理事長・学長の挨拶、パナソニック特別顧問・大坪文雄氏の特別講演から始まり、25年期会長の基本方針である「総力結集」「熟慮断行」「母校創立１３０周年記念事業の成功」と、今期執行部の活動指針である①常議員の校友会本部サポート強化、②代議員の地域支部活動意識の向上、③校友の積極的な校友会活動への参加、④母校創立１３０周年記念事業の支援、を説明。

次いで機関紙「関大」１月号の新春座談会に触れ、１３０周年記念事業の５項目を紹介、「６月１日から募金が開始される、ご協力をお願いする」と代議員に要請した。

また、会長、学長、理事長の「新卒業生に贈る言葉」を紹介し、併設高校の卒業式の写真では「良い悪いは別にして、１校だけ国旗が掲揚されていない」と指摘。ソチ五輪では現地で応援した思いを述べ、更に「関西大学から世界へ」との大学の方針に対応して、この２年間尽力してきた海外支部の育成の成果を紹介し、最後に会長からの提言を読み上げて挨拶を結んだ。

来賓挨拶で、池内啓三理事長は、「寺内会長が〝見える化〟ということで説明いただいた。補足説明的に大学の近況をお話ししたい」と前置きし、「ソチ五輪では、町田君、髙橋君が頑張ってくれたが、惜しかった。その際、皆さんに募金をお願いした。現在１３００万円弱の浄財を頂戴しており、お礼申し上げる。２人のため、並びにフィギュアで頑張っている選手のため、使い道をしっかりと協議していきたい。

２０１０プロジェクトは丸４年が経過し、初等部で初の卒業生を出すことができた。学部では、人間健康学部と社会安全学部で１回目の卒業生を出した。最初の卒業生ということで若干心配していたが、就職では予想を上回る成果を上げてくれた。

また、昨日、「スーパーグローバルハイスクール（ＳＧＨ）」の指定高校が発表され、関西大学の高等部が採択された。26年度から文部科学省が開始するもので、高校時代から国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成を図る事業で、全国で56校、大阪では北野・三国丘の公立２校と、私立では関大高等部１校だけである。高等部と大学の７

年、中高大の10年、初等部を含めた16年など、長いスパンではあるが、しっかりとしたグローバル人材の育成に努めていきたい。

１３０周年記念事業は、「千里山キャンパスに駅前の新しい玄関口を設置」「次世代グローバルリーダーの育成」など５事業を決定した。校友会、教育後援会、併設学校と連携して「オール関大」としての取組みを進めていきたい。事業総額40億円、募金は20億円を予定している。４月に事務局を立ち上げ、６月から広く募金を呼びかけていく。校友の皆さんには力強いご支援をお願いする」と協力を求めた。

楠見晴重学長は、「ソチ五輪では、町田・高橋両選手が５位・６位に入賞を果たした。高橋君はオリンピックに３回出場し入賞している。前回のバンクーバーでは日本人初の銅メダルに輝いた。町田君は昨日の世界選手権で、僅差の２位となり銀メダルを獲得した。織田君は現役引退を表明したが、彼も我々関大人に勇気と感動を与えてくれたということで感謝している。

約１年前の記事だが、ビジネス雑誌の「プレジデント」が、ビジネスマン１００万人を対象にして、学歴と就職、給与、幸せ度という調査を行った。それぞれ１９７０年代から10年刻みで２０１０年代までに分けて、大学を対象とした幸福度（満足度）を調査した。例えば、１９７０年代に就職した関西大学の卒業生は、当時は全体の10位だったが、現在は５位に上がっている。国公私立全ての大学が対象で、上位は早慶、東大、京大などが占めているが、関西大学は年代毎に上昇して、90年代では男子が就職時も現在も２位、女子は就職時６位が現在５位。最近の２０１０年代になると男子は就職時４位が現在は３位に、女子は５位が１位に上昇している。関西大学は卒業生の満足度が高い、あるいは卒業生が社会において活躍されている証であると思っている。

今後も、社会の要請に応えるべく有為な人材を更に輩出して、グローバル人材養成という社会からの要請に対しても、しっかりと応えていきたい。ご支援をお願いする」と挨拶した。

議事に移り、仁井ひろみ副議長が都合で欠席のため、古川好男議長一人の議長団で審議が進められた。

第１号議案「平成26年度事業計画（案）について」と第２号議案「平成26年度収支予算（案）について」は、賛同を得て一括上程され、大東恭治総務、中井邦夫事業、岩崎圭祐広報、田中義信組織、加藤安宏学生支援、玉置栄一財務の各部長が所管事項を詳しく提案説明した。

26年度事業計画は別掲のとおりだが、主な事業計画としては、校友総会は10月19日（日）12時半から千里山キャンパス・第２学舎４号館「ＢＩＧホール１００」で開催される。第２部の記念講演では、講師に京都大学大学院工学研究科教授で安倍内閣の内閣官房参与の藤井聡先生を予定している。

全国組織代表者会議は、７月５日（土）午後１時から１００周年記念会館で開催。恒例の天神祭・奉拝船「関大丸」の就航は７月25日（金）に実施。校友落語家による「関大寄席」は10月11日（土）に天満天神繁盛亭で予定されている。

質疑応答に入ったが、会場からは特に質問もなく、両議案とも原案通り承認され、北嶋弘一副会長の閉会挨拶で終了した。

懇親パーティで交流親睦深める

休憩後、同会場で有志による懇親パーティが開かれ、渡邊泰之副会長の開宴挨拶、畑下辰典顧問の発声で乾杯し、約１時間に亘り懇親を深めた。最後は、応援団ＯＢ・ＯＧ千成会（Ｉ部）の八田敏裕氏のリードで逍遙歌を合唱し、閉宴となった。

平成26年度事業計画書（案）

（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

1 主なる会合

(1) 平成26年度校友総会

日時　平成26年10月19日（日）12時半～

場所　総　会　第２学舎４号館「ＢＩＧホール１００」

懇親会　凛風館２階「ダイニングホールディノア」

(2) 代議員会

ア 第１０３回定時代議員会

日時　平成26年６月14日（土）午後１時～

場所　１００周年記念会館

議案　１ 平成25年度事業報告（案）について

２ 平成25年度収支決算（案）及び貸

借対照表並びに財産目録について

イ第104回定時代議員会
日時　平成27年3月28日（土）午後1時～
場所　100周年記念会館
議案　1平成27年度事業計画（案）について
2平成27年度収支予算（案）について

(3)常議員会

ア第6回常議員会
日時　平成26年4月30日（水）午後6時半～
場所　校友・父母会館　校友会会議室

イ第7回常議員会
日時　平成26年9月10日（水）午後6時半～
場所　校友・父母会館　校友会会議室

ウ第8回常議員会
日時　平成27年2月25日（水）午後6時～
場所　未定

2 スプリングフェスティバルの開催

2014スプリングフェスティバル
日時　平成26年4月6日（日）午前10時～午後3時
場所　関西大学千里山キャンパス

3 母校創立130周年記念事業への取り組み

今期執行部では「母校創立130周年記念事業の成功」をスローガンに掲げており、平成28年に迎える母校創立130周年に向けては、積極的にその一翼を担って、校友会各組織と連携してより広い校友の母校愛を結集するようつとめたい。

4 学生振興支援諸施策の充実

校友会では、「学生振興支援基金規程」に基づき、学業成績優秀者やクラブ活動で顕著な成績を修めた団体・学生に対する「功績表彰」、優秀な学生・院生に対する「給付育英奨学金」、学園祭をはじめ学生の諸活動に対する「助成」と多彩な学生支援施策を実施してきた。平成24年4月、常議員会運営規則を改正し、新たに「学生支援部」を設置し、「学生振興支援基金」に関すること、学生会員の学術・文化・スポーツ振興に関することを主な所管業務として運営していくことを決定した。新設された学生支援部の審議に基づき、校友会は平成26年3月までに本学法科大学院修了生の司法試験合格を支援する独自の新たな奨学金制度を設けるなどの諸施策を実施したが、オリンピック東京開催決定なども踏まえて、本年度も、「助成」や「奨学金」など「学生振興支援基金」のより効果的な運用方法、学生支援施策をさらに具体的に検討し、その内容の充実をはかりたい。

5 校友データ管理とシステムの充実

卒業生の住所等のデータは、学校法人より委託を受け校友会が管理している。校友の住所は、機関紙『関大』の発送などで信頼性の高い住所を把握している。また、住所や勤務先等の変更をホームページから連絡できるようになり、多くの校友が利用している。

なお、平成17年4月の個人情報保護法施行に伴い、本会でも「個人情報保護規程」を制定し利用目的を広く公表するなど、個人の権利保護の立場から個人情報について慎重に取り扱っている。

6 校友会の社会連携活動

校友会の基盤である校友会組織においては、校友同士の絆を深めるとともに、近年、地域と社会に貢献することが校友会或いは母校の活性化を促すと捉え、地域に根差す様々な諸活動を展開している。校友と母校において、これまで以上に強固に連携することが肝要と考え、大学・校友それぞれが保有する知的資産を双方、および校友間で活用することにより、校友のみならず母校の発展と地域社会に寄与するあらゆる社会連携活動を積極的に推進し、「社会連携活動助成金制度」を策定、校友会各組織による地域貢献活動を推進している。本年度も更なる発展を期してこれを継続して精力的に推進したい。

また、就職活動の厳しい情勢の中で、地元へのUターン就職も希望通りに叶わない学生への応援のひとつとして、地域支部からの情報の提供など、本部と支部のネットワークを軸にした支援体制を形成するよう検討を進めたい。

7 広報活動の充実

(1)機関紙『関大』の充実

本年度は、第581号から第586号まで年6回発行する。

ユニークな校友や社会で活躍する校友を紹介する新企画を順次連載する一方、校友に関心の高い母校の現況をより多く取り上げるなど、内容の充実にもつとめているが、今後も「より読まれる『関大』紙」を目指し、紙面レイアウトの工夫や読み物的企画の掲載など充実につとめていきたい。

また、母校創立130周年を視野に、ホームページや機関紙のあり方を総合的、効果的に検討していきたい。

(2)ホームページの充実とフェイスブックの立ち上げ

校友会ホームページは、平成19年度に、大学各部署との更なる連携、一体的な運用を視野に入れたリニューアルを行った。特に、校友会組織のホームページを校友会の管理するサーバーで開設できるようにし、また、体育会各クラブの試合日程や結果等も速報できるよう改善した。さらに、「活発な支部活動」というカテゴリーを新たに追加し、事務局に寄せられた支部活動の記事を機関紙の発行を待たずして掲載することにより速報性の向上に取り組み、また、「社会

との交流と連携」や「海外の校友会」など、内容の充実につとめた。

また、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の一つ、フェイスブックは、若者を中心に年配者にも多くの利用者がおり、本会の広報活動の充実には、ページの開設は欠かせない。既に20を超える校友会組織が開設して成果をあげており、関西大学も昨年度から運用を開始している。

多くの校友の支持を得られるよう内容を検討して、平成26年度早期の開設を目指したい。

なお、ホームページやフェイスブックについては、今後も、あらゆる意見や要望のなかから有効な企画を取り入れ、校友会の広報活動の充実をはかっていく。

8 組織活動の促進

校友会活動の基盤である支部等各組織の充実拡大は、本執行部の重点施策のひとつであり、各組織の新設、再建と併せて、精力的に取り組んでいる。特に、前期より継続して推進している「地域支部活性化プロジェクト」においては、校友会登録組織全体を見渡して、「支部設置規程」を鑑みつつ、組織の整備や再編に取り組み、併せて国内および海外の不在となっている地域支部の設立に取り組んでいる。今後も校友からの国内外のあらゆる校友情報の提供をお願いしたい。

また、支部への助成制度についても、助成額と実効性を考慮し、効果的な運用を検討したい。

なお、本年度の全国組織代表者会議は、以下の日程で開催する。

（1）平成26年度全国組織代表者会議

日時　平成26年7月5日（土）午後1時〜

場所　100周年記念会館

9 事業活動の推進

（1）第30回記念支部対抗親睦ゴルフ大会の開催

日時　平成26年5月26日（月）

場所　天野山カントリークラブ

（2）天神祭船渡御　奉拝船「関大丸」の就航

日時　平成26年7月25日（金）

（3）校友落語家による「関大寄席」の開催

日時　10月11日（土）9時半開場、10時開演

場所　天満天神繁昌亭

（4）関西大学校友カード

JCB、三井住友ビザと提携し、校友の友好の絆として、また母校への親しみを一層深める媒体として、関西大学校友カードを発行している。カード利用額の還元金を学生振興支援の一部に充当するなど校友会財政にも寄与しており、校友のご加入と加入者には引き続いてのご利用をお願いしたい。

10 財務体質の更なる充実について

校友会財政は、平成12年度の会則改正により、法人・教学の理解を得て学生会員制度を設け、基本会費の納入が充実し、中長期展望が広げられるところとなった。

既卒校友の会費納入については、より効果的な納入勧奨施策を検討し、納入率の向上につとめたい。

11 会員の慶弔

会員の親睦・交流は大きな事業目的であり、校友相互の情報交換につとめ、慶弔内規により祝電、弔電、その他心から慶意・弔意を表し親和の実を挙げたい。

12 教育後援会との連絡提携

教育後援会は、在学生の教育指導に関し、大学と家庭の連絡機関であり、毎年1回大学で開く総会には、5000名を超える父母が出席している。また、毎年夏に行われる地域別教育懇談会は、全国多数の都市で盛大に開催されており、校友会ではこれに併せて、各支部に総会や懇親会の開催を勧奨するなど、組織活動の促進をはかっている。

学生支援のためにも、父母を対象に行われるこれら諸行事に会長が出席するなど、今後も教育後援会との交流をはかり、ともに連絡提携して母校の発展に寄与することにつとめたい。

以　上

「関大寄席2014」

10月11日（土）に天満天神繁昌亭で開催

若手校友落語家による「関大寄席」は、毎回、満員の盛況をおさめているが、本年度も次のとおり天満天神繁昌亭で開催することになった。

この催しは、天神祭船渡御での「関大丸」の就航や天神橋筋商店街との本学社会連携活動を通じて縁の深い天満天神繁昌亭を会場に、若手校友落語家を応援するために開催している。

出演者、申込方法等は確定次第お知らせます。

◆期　日　10月11日（土）9時半開場、10時開演〜11時半閉演。

◆場　所　天満天神繁昌亭（大阪市北区天神橋2-1-34）

※問い合わせ等は、校友会事務局（06-6368-0042）まで。

平成26年度収支予算（案）

自平成26年4月1日～至平成27年3月31日

○普通会計

（単位＝円）

支出

科目		26年度予算	25年度予算	比較
人件費		14,052,000	14,052,000	0
	給与手当	13,600,000	13,600,000	0
	福利厚生費	352,000	352,000	0
	社会保険料	100,000	100,000	0
物件費		6,030,000	7,880,000	▲ 1,850,000
	備品費	500,000	500,000	0
	消耗品費	1,030,000	1,030,000	0
	印刷費	1,700,000	2,750,000	▲ 1,050,000
	通信費	2,100,000	2,100,000	0
	その他物件費	700,000	1,500,000	▲ 800,000
会議費		3,360,000	3,100,000	260,000
	代議員会費	250,000	250,000	0
	常議員会費	950,000	950,000	0
	部長会費	360,000	360,000	0
	部会費	1,350,000	1,220,000	130,000
	顧問参与会費	120,000	120,000	0
	特別委員会費	330,000	200,000	130,000
事業費		186,770,000	189,270,000	▲ 2,500,000
	総会費	2,900,000	2,900,000	0
	スプリングフェスティバル費	4,000,000	4,000,000	0
	事業費	5,000,000	5,100,000	▲ 100,000
	機関紙印刷費	19,800,000	24,400,000	▲ 4,600,000
	機関紙発送費	30,100,000	38,900,000	▲ 8,800,000
	編集諸費	1,300,000	1,300,000	0
	WEB関係費	7,500,000	2,500,000	5,000,000
	支部総会参加費	7,850,000	6,350,000	1,500,000
	支部助成費	10,920,000	11,420,000	▲ 500,000
	代表者会議費	1,200,000	1,200,000	0
	130周年記念事業積立金	10,000,000	5,000,000	5,000,000
	学生振興支援費	60,000,000	60,000,000	0
	校友会館建設分担費	25,000,000	25,000,000	0
	慶弔費	500,000	500,000	0
	渉外費	700,000	700,000	0
予備費		7,000,000	7,000,000	0
当期支出計		217,212,000	221,302,000	▲ 4,090,000
次期繰越金		2,488,000	2,788,554	▲ 300,554
合計		219,700,000	224,090,554	▲ 4,390,554

収入

科目		26年度予算	25年度予算	比較
会費収入		185,000,000	184,000,000	1,000,000
	積立会計受入金	185,000,000	184,000,000	1,000,000
寄付金・協力金収入		9,300,000	11,100,000	△ 1,800,000
	一般寄付金	100,000	100,000	0
	機関紙発行協力金	9,200,000	9,200,000	0
	事業協力金	0	1,800,000	△ 1,800,000
事業収入		2,900,000	2,900,000	0
	校友カード手数料	2,900,000	2,900,000	0
その他収入		2,500,000	2,500,000	0
	利息収入	2,000,000	2,000,000	0
	雑収入	500,000	500,000	0
当期収入計		199,700,000	200,500,000	△ 800,000
前期繰越金		20,000,000	23,590,554	△ 3,590554
合計		219,700,000	224,090,554	△ 4.390,554

（注）比較は、26年度予額から25年度予算額を引いた金額である。

シンガポール千里会との交歓の旅

仕事に母国に母校に強い誇りと愛情感じる
交歓会での学歌、逍遙歌では強い「学縁」も

2月21日（金）、関西空港を11時に離陸し、一路シンガポールへと向かった。

シンガポール千里会と組織部の交歓会は、昨年に寺内俊太郎会長が約束され、実現した。

かつて昭南（シンガポール）支部は、昭和19年春頃から、文学部飯田正一教授を中心に月一回、7、8人から10人の校友が集まり、20年3月頃まで、十数回続いたそうだ（次頁の機関紙「関大」資料参照）。

7時間余りのフライトを経て、現地時間の17時過ぎ、気温30℃のチャンギ国際空港に到着。ホテルに移動後、各自荷物を解いて、一休みした後、揃って夕食へ。

22日（土）、朝から自由時間。寺内会長をはじめ、田中義昭副会長、田中義信部長、谷康司副部長は、国境を越えマレーシアジョホーバルへバスツアーに出かけられた。観光のほか、バティック工房でろうけつ染めも体験された。中でも会長・副会長の作品は、校友会役員室に飾る、もしくは支部対抗親睦ゴルフ大会のブービー・ブービーメーカーの副賞とすれば…等、その有効活用法を話し合われた。

が、苦情が出ないように自宅に飾ることに決した。この結果から、その出来栄えをご賢察いただけると何よりである。

夜は、今回の目的であるシンガポール千里会と交歓会。会場はシンガポール千里会吉野雅博会長が役員を務める、高島屋Crystal Jade Palace。別便で到着の本間敏司、山上珠実組織部役員や、今朝到着組の福岡千里会白木成光会長ご夫妻も合流。

訪問団10人とシンガポール千里会会員7人の交歓会は、式次第に沿って進み、吉野会長からは、「大学当局は何事にも対応が鈍い…」と、叱咤激励の挨拶がなされた。シンガポール千里会の各位が、仕事に、母国日本に、母校関西大学に、強い誇りと愛情を持っておられることを強く感じた。今後校友会としてどのようなサポートができるか、我々の役割も再考していかなければならないとの思いである。

乾杯が済むやいなや、2テーブル隣同士でも声を張り上げないと聞こえないくらい盛り上がった。せっかく日本から来たのだからこれは必ず食べて欲しい、とメニューを厳選してくださったシンガポール料理を堪能した。また、紹興酒にドライ梅干を入れると、角砂糖にはない深い味わいとなることも知った。

シンガポールの地で斉唱する学歌、逍遙歌は、いつも以上に強く「学縁」を感じるものがあった。

23日（日）、午前中は慌しいショッピング。昼前にチェックアウトし、空港へ。帰路は6時間程のフライトで関西国際空港に着き、全員無事に帰路へついた。

普段は会議の席でのお会いすることが多いが、今回多くの先輩方とご一緒し、その魅力的な

お人柄に接することができ、あっという間の3日間、笑ってばかりの楽しい充実した研修旅行であった。

シンガポール千里会の皆さま、大変お世話になりました。ありがとうございました。ますますのご活躍をお祈りしております。

（組織部副部長　池松知永子）

昭南（シンガポール）支部始末記

文学部教授・飯田正一

校友会支部は、ここ数年間に、すっかり整備されたようだ。地方へ出掛けても、直ぐ連絡がつくし、古い校友とも、会う機会が多くなった。嬉しいことだ。今後も支部は、地域、職域ともにますます増加していくだろうし、それが大学の発展に直接結びつくと思うと心強い限りだ。

だが、現在海外にまで支部はできてないのではないかと思う。僕の見落しでなければ幸いだ。

しかし、海外支部も、かっては存在した。少なくとも、戦争中、昭南に支部を結成した僕らとしてはそう揚言することをはばからぬ。

当時、昭南（シンガポール）には軍政が布かれていたから、そこを海外とよんでいいかどうか。ただわれわれの気持ちからいえば、そこは疑いもなく、故国を遠く離れた海外だった。

僕は、昭南防衛司令部隷下の砲兵隊にいた。部隊の主任務は、破壊されたシンガポール要塞を整備して、海正面の防御に当たるというのである。給与掛の下士官が、ある日、貨物廠から帰ってきて、中島少尉が僕に会いたいといっていた、と伝えた。関大出身とのことだったが、中島光夫（昭15大経）という名に、その時記憶はなかった。が、間もなく、当の中島君が訪ねてきた。関大という名が、切ない程懐かしかった。同じ貨物廠に、阿部正貫君（昭8大法）のいることもわかり、憲兵隊に永井政治君（昭9大法）のいることも知った。たぶん、昭和十九年の春だったと思う。

一度、出身者で集まろうということになった。会場は、昭南随一の料亭「近松」。そこはお偉い方の集まるところで、われわれなど、なかなか窮屈なところなのだが、憲兵隊という職業柄、永井大尉の顔が利いた。集まるもの十名あまり。鉄道連隊の副官をしていた八沢倶好君（昭3大法）もいた。軍政部の若い連中もきた。

さっそく、校友会昭南支部と命名して、今後、毎月一回は集まろうという話がまとまった。永井君が軍隊での先任者で、おのずから支部長格、中島君がなにかと幹事役を引受けてくれた。話は、懐しい母校のこと、楽しかった学生生活の思い出ばかりだった。ここではみんなが階級の称呼を忘れて、僕を先生と呼び、永井君らを先輩といった。他大学の支部というものは、僕らの知る限り、早稲田にも慶応にもなかった。それがまたわれわれとして自慢の種だった。

中島君は、こまめに、通過部隊のことなどもよく調べてくれた。内地から、若い卒業生の見習士官が何人かやってきた。ビルマやスマトラやジャバに出発するまでの幾日間をシンガポールで過ごすのである。そういう連中を迎えて、会を開いたこともあった。単独で外出を許可されない連中は、僕がよく連れ出しに行った。平野喜八郎君、松童唯一君（昭16大法）、鶴田武君（昭17大経）、幡井清君（昭23大経）なども来た。若い連中は、酔うと、直ぐ立ち上って、学歌や応援歌をうたい出した。顔を真赤にし、息をはずませながら、夢中でうたいつづけた。暗い海に、その声が消えていった。今日別れれば、明日は会えるかどうかわからない。戦地にいるという感傷が、お互いの胸に流れ、熱いものがこみあげてきた。

平野君は、僕の宿舎にもきた。しっとりした夜気を感じながら、一晩中語り合って、夜が白むころ車で送った。別れ際に

―元気でいろよ。

と、僕はいったが、思い直してもう一度―

―大事にしろよ。

と、いった苛烈なビルマの戦場へ赴くこの若い教え子に、生還を期することが何で出来よう。僕は、大事に死ねよということをそれとなしにいった積りだったのだ。

支部の会合は二十年の三月ごろになると、情勢が切迫してきて、もう集まるどころの騒ぎではなかった。そのころ、これが最後だと思って、永井君、中島君と三人で、ジョホールバルの料亭に出掛けた。永井君にすっかり世話になった。支部も当分これで中止しょうと決めた。

終戦直後の混乱は、ここで記すに忍びない。僕らの部隊もあわただしくシンガポール島を退去した。ジョホールも陸橋の傍で、偶然、永井君が群集の中に立っているのを見たが、永井君も目ざとく僕を見つけて手を振った。帰還船ではどういう因縁か、また中島君と一緒になり、支部もとうとう自然消滅だな、といった。

シンガポールに海外支部が再建されるのは、いつの日だろう。僕は必らずその日の来るのを信じて疑わない。

「関大」第66号（昭和35年9月15日発行）4面

天神祭船渡御の「関大丸」
今年も校友・ご家族など乗船者募集!!

大阪の夏を彩る天神祭。そのクライマックス・船渡御が7月25日（金）夕刻から大川で行われるが、校友会では今年も奉拝船「関大丸」を就航します。

毎年好評で、地元の方々からも温かく迎えられ、地域振興に一役買うとともに、「強い関西大学」を市民にアピールしています。

千年の歴史を有し、日本三大祭に数えられる天神祭を、「関大丸」の船上から満喫しませんか。校友、ご家族、お知り合いの皆さまの乗船をお待ちしています。

日　時　7月25日（金）夕刻～

参加費　20,000円（同伴者も同額、弁当・飲物・うちわ等付）

定　員　先着160人（ご家族等の同伴を歓迎します）

◎関大丸への乗船をご希望の方は、氏名、卒業年・学部、住所、電話番号（同伴者のいる場合は同伴者名）を記入して、校友会事務局へ郵送またはFAX（06-6380-8476）でお申し込みください（先着順受付、定員になり次第締切）。

◎参加申し込みの方には、後日改めて参加費振込用紙と集合時間・場所等を明記したご案内をお送りします。

創立130周年記念事業「実行計画」と「募金計画」を発表

記念事業総額40億円、募金目標額20億円 いよいよ6月から募金活動開始へ

本紙第579号（平成26年1月15日）に掲載の「新春座談会―関西大学の明日を語る」（池内理事長・楠見学長・寺内校友会長）及び「創立130周年記念事業の大要（案）」でも既報のとおり、平成28年（2016年）に迎える母校の創立130周年記念事業については、昨年11月1日付で理事会のもとに設置された「創立130周年記念事業・募金委員会」において検討が進められ、3月13日の委員会で記念事業の実行計画（大要を含む）及び募金計画（骨子）の最終案を策定、理事会の承認を経て、学内外に発表された。

また、4月からは、「創立130周年記念事業・募金事務局」が設置され、あわせてウェブサイトも開設されるなど、記念事業の成功に向けて本格的に活動が開始された。

発表された実行計画、募金計画等の概要を紹介する。

実行計画と募金計画

【基本方針】

1 基本的な考え方

「ソフト中心のコンパクトな記念事業」を目指します。

2 記念事業の基本方針

本学は関西法律学校として、大阪で生まれ発展してきた大学であることを踏まえ、次の3つのテーマを掲げます。

(1)国際性（アジアの中核大学、ハブ大学）

社会から強く求められている、国際化に対応可能な人材を育成します。

(2)知性と先進性（安全・安心、環境、健康に関する文理融合型プロジェクト）

人間健康学部、社会安全学部、東アジア文化研究科など、新たに設置した学部・研究科の特色を活かした事業を既設の学部との関連を持たせて実施し、大学全体のブランド力の向上を図ります。

(3)歴史と伝統（泊園書院、市民の大学、ハブ大学としての地域連携・地域貢献）

本学構成員が建学の精神を再確認し、帰属意識の醸成を図る機会とします。

3 コンセプト 伝統への自信 未来への考動 ～「学縁」を世界に広げよう～

「学縁」とは、「教育の築きあげる絆」であり、これを世界に広く発信していきます。

【実行計画（大要）】

■千里山キャンパスの「知的創造空間」の創出 20億円 ～利便性・快適性を求めたアプローチに～

千里山キャンパスへの新しい玄関口を設置し、千里山キャンパスの狭隘化を解消すべく「知的創造空間」を創出します。これにより、教育・研究の活性化に加え、公開講座等を開催して地域の皆さんにも開放するなど地域と学園が共に発展できる様々な取組みを実践します。併せて、「アクセス空間」を整備し、憩いの広場を設け、植樹により緑のキャンパス空間を演出するなど、学生や地域住民の皆さんの利便性・快適性を高め、安全・安心で人にやさしいアプローチを造成します。

■「関西大学グローバルフロンティアプログラム（KUGF）」の開発・提供による"次世代グローバルリーダー"の育成 6億円 ～国際感覚あふれるグローバル人材の育成を～

文部科学省が提唱するグローバル人材育成を見据え、本学学生が、国際社会の各分野で活躍できる人材となるために必要な専門的知識や技能を修得し、グローバル人材に必要な高度の言語運用能力・実践的コミュニケーション力・国際的課題解決力を獲得できるよう、各種の専門的プログラムを開発・提供します。また、学部教育との連携によって学生の国際的適応力を高めるほか、KUGFや各学部・研究科独自のプログラムなどを助成対象とする「グローバル教育推進奨学金・援助金（仮称）」の創設を検討するなど、社会が求める国際感覚溢れる"次世代

レジデンス・アシスタントと留学生

"グローバルリーダー"の育成に努めます。

■「関西大学イノベーション創生センター」の設立　9億5千万円
～先進的な産学官連携の共同研究拠点に～

科学技術総合立国を標榜する我が国の喫緊の課題は、国際競争力の向上に資する革新的なイノベーションを創出することであります。

このセンターは、本学理工学系の先端研究に加え、マーケティング・リサーチ等の社会科学系の分野も配置し、自然科学系・社会科学系の枠組みを超えた教員・学生が企業等の皆さんと対話・交流できる機能等を有する本格的なイノベーション創出拠点となります。社会連携部および先端科学技術推進機構等との強固な連携のもとに、インキュベーション機能、ベンチャー促進機能等も兼ね備えた日本有数の産学官連携・共同研究拠点を形成します。さらに、企業等の研究部門を誘致させていただき、研究者・技術者の皆さん方との共同研究も促進するなど特徴的かつ持続可能な研究成果を世界に発信する"研究ハブ大学"となることを形成し、産学連携に強い関西大学を目指します。

大型研究装置施設・設備

■「関西大学なにわ大阪研究センター」の設立　5千万円
～大阪文化の検証と次世代への継承として～

関西大学は「大阪」に生まれ育まれてきた大学であり、「なにわ、大阪」に関する豊富な学術資産と、密接な地域連携に基づく研究実績を有しています。これを基盤に平成22（2010）年に「大阪都市遺産研究センター」として文部科学省の大型補助金（私立大学等戦略研究基盤形成支援事業）にも採択されています。この「なにわ大阪」をキーワードに、人文、社会、情報、防災、理工学等の各分野を統合した「総合科学」の観点から、永続的な研究拠点を形成する一大企画として「関西大学なにわ大阪研究センター」を新たに設立します。

このセンターには、大阪文化の検証と次世代への継承という大きな期待が寄せられています。大正期・道頓堀のCG製作など大阪研究における我が国の代表的な拠点がこの関西大学に存在することを高らかに宣言し、今後とも大阪の歴史と文化を愛する多くのファンを魅了し続けてまいります。また、既存の附置研究所をはじめ近隣の大学、自治体、企業、商店街、NPO等との学術的な連携を推進し、21世紀における「大阪研究の拠点」として活動し、その成果を国内外に広く発信していきます。

復元CG（大正中期の角座付近）

■「関西大学『学縁』給付奨学金制度」の構築および校友会、教育後援会、併設校等との連携による「オール関大」としての各種事業の実施　4億円
～「学縁」をキーワードに関西大学の絆を広げます～

「関西大学『学縁』給付奨学金制度」を構築し、本学を卒業・修了した奨学生を主たる対象として寄付募集を行い、現役の奨学生に支援することで奨学生同士や卒業生・修了生との縦横無尽の交流（縁）を創出します。また奨学生会「葦の葉クラブ（仮称）」を設立し、現役奨学生と卒業生・修了生を会員とする「学縁」を構築することも検討します。さらに、大学と地域住民が企画・運営する学社融合型の課外活動「NPO法人カイザークラブ（仮称）」を設立し、学生のフロンティアスピリットを育成します。これら以外にも、地方都市での校友の集いの開催など、校友会、教育後援会、併設校等とも連携した「オール関大」としての各種事業を実施していきます。

「学縁」を世界に

【募金計画（骨子）】

1　募金の名称
関西大学創立130周年記念事業募金

2　記念事業所要資金
総額　40億円

3　募金目標総額　20億円

4　募金の種類
(1)個人を対象とするもの：1口2万円（なるべく複数口の協力を依頼する。ただし、1口未満でも拝受する）
(2)法人・団体を対象とするもの：1口の金額は特に定めない

5　募金期間
平成26年6月1日～平成29年3月31日

6　免税措置
(1)個人の場合：税額控除または所得控除
(2)法人の場合：①特定公益増進法人に対する寄付金（寄付金の一定の限度額まで損金に算入できる）―一般寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入することができます。
②受配者指定寄付金（寄付金の全額を損金に算入できる）―受配者指定寄付金制度とは、学校法人への寄付金をいったん日本私立学校振興・共済事業団（以下「事業団」）が受入れて、その後、同事業団から寄付者の指定した学校法人へ配布する制度です。寄付金を支出した事業年度において所得の金額の計算上全額損金に算入することができます。指定寄付による損金算入手続きには、事業団発行の「寄付金受領書」が必要となります。この「寄付金受領書」は、本学を経由して寄付者に送付いたします。

以上

6900余人の新関大生が誕生
平成26年度学部入学式を挙行

桜満開の千里山キャンパスで4月1日、平成26年度学部入学式が挙行された。

式は、千里山中央体育館（新入生）東体育館（父母）を会場に、午前10時から法・商・社会・政策創造・人間健康・総合情報の6学部、午後2時から文・経済・外国語・社会安全・システム理工・環境都市工・化学生命工の7学部の2回に分けて行われ、6900余人の新関大生が学生生活の第一歩を踏み出した。

式辞で楠見晴重学長は、「関西大学は明治19年（1886年）に、当時大阪在住の裁判官など12名が中心となって、西日本初の関西法律学校として大阪市内に創立されました。その後、大正11年（1922年）、専門学校から旧制大学へ昇格し、大阪では初めての大学となり、同時に大学としての機能を高めるために大阪市内からこの千里山へ移転しました。当時の第11代学長山岡順太郎先生は、学問至上主義だった大学のあり方を問い直すため、『学の実化』を提唱しました。具体的には「学理と実際の調和」、「国際的精神の涵養」、「外国語学習の必要」、「体育の奨励」の4つから成っています。「学理と実際の調和」とは学問や理論が、現実社会とかけ離れたものにならないようにし、実際の社会に役立つようにすることを意味しています。

あとの3つは、すぐに理解できると思います。今から92年前に提唱されたこの『学の実化』は、本学の学是として定着し、現在に至るまで、本学の教育理念の根幹を成しています。皆さんは今日から関西大学での学びが始まりますが、まずは関西大学の建学の精神と学是を理解することから始めてください。そして一日も早く、関大生としての自覚と誇りをしっかりと身につけて頂きたいと思います」とお祝いの言葉をおくった。

入学生総代が宣誓して閉式。続いて、今年度から応援団による華やかで力強い新入生歓迎セレモニーが行われ、新入生たちの新たな門出を彩った。

その後、新入生たちは、黒田勇副学長から「薬物問題に対する関大の取組み」や「大学生の心構え」などについて聞いた後、それぞれの学部に分かれて、学部教育の特徴について説明を受け、関大生としてのスタートを切った。

大学院が入学式を挙行
3課程に757人入学

平成26年度大学院入学式が、4月2日午前10時から千里山中央体育館で挙行され、修士課程・博士課程前期課程に603人、博士課程後期課程に68人、専門職学位課程に86人と、3課程全16研究科に757人の新入生が入学した。

式辞で楠見学長は、戦後の混乱期に「関大ルネッサンス」を提唱し、当時の関大生たちの眼を大きく世界に見開かせた岩崎卯一学長を紹介。「岩崎先生の学生時代には、関西大学には大学院が設置されていなかったため、コロンビア大学大学院に進学されました。すでに100年も前に国際的な視野を持っていた本学の卒業生が在学していたことは、皆さんにとって大きな励みとなるはずです。皆さんも岩崎先生のように、海外に目を向け、国際的精神を養い、グローバルに活躍できる人となることを期待しています。そのためには、日々の努力を惜しまず、独創的な研究成果を挙げることを目指して、充実した大学院生活を送られることを切望します。

また、人との出会いは、新しい本との出会いと同じく、人間を成長させてくれます。日本はもとより、世界で多くの人と出会い、自らを成長させ、充実した大学院生活を送られることを期待しています」と激励した。

その後、修士課程・博士課程前期課程、博士課程後期課程、専門職学位課程それぞれの入学生総代が宣誓し、式を閉じた。

留学生別科も入学式 8カ国・地域から24人

南千里国際プラザで4月2日に、留学生別科26年度春学期入学式が行われた。

アメリカ、イタリア、韓国、タイ、台湾、中国、ベトナム、メキシコの8カ国・地域から24人の新入生が入学した。

6298人の新学士が実社会へ
平成25年度学部卒業式を挙行

平成25年度学部卒業式が、3月20日に千里山中央体育館で挙行され、当日はあいにく終日雨模様の天気だったが、今年度の卒業式には、2010年4月に開設した人間健康学部、社会安全学部からの1期生が新たに加わって、6298人の新学士が思い出の学舎を後に実社会に力強く巣立って行った。

式は、午前10時から法・経済・政策創造・人間健康・社会安全・システム理工・環境都市工・化学生命工・工学部と、午後2時から文・商・社会・外国語・総合情報学部の2回に分けて行われ、4年間歌い馴染んだ学歌を斉唱の後、各学部ごとに起立し、楠見晴重学長から総代に卒業証書・学位記が授与された。

式辞で、楠見学長は「最近、私は『学縁』という言葉をよく使います。時代は異なっても自由闊達な関西大学でともに学んだことが、いずれ大きな『学縁』となって皆さんの財産となります。

また、ここに集まる卒業生は、新たな『私たち意識』を獲得した人たちであることも忘れてはなりません。4年間、関西大学で仲間や教授陣と『学縁』を結んだ者同士です。そして、震災をはじめ、様々な出来事を共にし、共通の記憶を形成した仲間です。そして、先輩方が築きあげた128年の歴史に支えられた存在です。それが2014年に関西大学を卒業する『私たち・関大人』です。4年間、関大生として過ごして作り上げた『私たち・関大人』というアイデンティティと誇りは、これからの皆さんの人生で大きな力となっていくことと思います。おそらく、社会に出て何年か経つと、他の大学で過ごした人たちとは何か違う、『私たち・関大人』に気づくはずです。

さらに、卒業していく皆さんに、私は毎回、申し上げていることがあります。改めて、関西大学の校章の意味をかみしめてもらいたいと思います。大阪や日本を象徴する植物・葦をデザインしたものが関西大学の校章です。また、フランスの哲学者・パスカルは「人間は考える葦である」と言いました。パスカルの言を借りると、関西大学の校章は、宇宙の中での生命の存在の小ささとともに、知性の力強さと大きさを象徴しているともいえます。

これからの社会は、地球規模で考えて行く必要がありますが、そうしたグローバルな課題を前にすると、私たち一人一人の存在は誠に小さなものに見えます。そのようなときに、ぜひ関西大学の校章を思い起こしてください。小さな私たちでも、大きな知性と無限の想像力を持って未来を切り開いていけるのだと、思い起こしてください。この校章のもとに集い、関西大学で育った卒業生であること、『私たち・関大人』であることを、皆さんはこれからも誇りにし、そして拠り所にしてください」と餞の言葉を贈った。

卒業生総代が、教職員や友人、家族に感謝の気持ちと、これからの決意を込めた答辞を述べて閉式。卒業生は、送歌に送られて式場を後にした。

思い出がよみがえる
KANSAI UNIVERSITY グッズ
記念品やお土産に是非ご利用下さい
●詳しいお問い合わせは
関西大学生活協同組合 TEL：06-6368-7536 E-mail：ku-shop@kandai.ne.jp
凜風館3F関大グッズコーナーにて販売しております

大学院学位記授与式
学長から734人に

千里山キャンパスで3月22日、平成25年度大学院学位記授与式が挙行された。

修士・専門職の学位記授与式は、午前10時から第2学舎4号館BIGホール100で行われ、修士課程・博士課程前期課程の法学・文学・経済学・商学・社会学・総合情報学・理工学・外国語教育学・心理学・社会安全・東アジア文化・ガバナンスの12研究科修了生と、専門職学位課程の法務・会計研究科・心理学研究科心理臨床学専攻の3研究科修了生の計15人の総代に楠見学長から学位記が授与された。

修士の学位記を授与されたのは602人、専門職の学位記を授与されたのは93人で、楠見学長から、「日本社会に限らず現代の地球規模の人類社会は、皆さんのような若い人の行動力とチャレンジ精神を必要としています。諸課題は人類として初めて経験するものばかりであり、既存の解答や方法を学び、適用することで解決できるものではありません。解決のためには、皆さんの関西大学大学院で養われた高度な知識、課題解決力とともに幅広い教養と、創造力、そして常識にとらわれない思考と実践が求められています。皆さんがその限りない力を発揮して、日本と世界の未来のために貢献することを期待しています」と激励の式辞が贈られた。

博士の学位記授与式は、午後2時から100周年記念会館で挙行され、39人に博士の学位記が授与された。

外国人留学生歓迎会
300人出席し歓談

4月1日、千里山キャンパス・100周年記念会館で、国際部主催の外国人留学生歓迎会が開催された。

楠見晴重学長、池内啓三理事長から祝辞が贈られ、新入生代表は、これからの学生生活の抱負や目標などの決意を表明した。

この歓迎会には、先輩留学生も加わり、約300人の留学生たちは、希望に満ちた楽しい時間を過ごした。

留学生卒業歓送会開く
160人の門出を祝福

100周年記念会館で3月14日、国際部主催の外国人留学生卒業歓送会が開催され、卒業・修了する約160人の留学生の門出を祝福した。

楠見晴重学長、池内啓三理事長からの祝辞の後、寺内俊太郎校友会長より卒業記念品の贈呈が行われ、卒業生代表挨拶では、関スラさん（文学研究科博士課程前期課程）が、学生生活の思い出や先生方への感謝の気持ち、新しい世界に羽ばたく決意を述べた。

その後、卒業生は、学生生活を共にした友人や在学生、教職員と楽しい時間を過ごし、学生生活の思い出に浸った。

留学生別科秋学期
51人がコース修了

3月18日に2013年度秋学期留学生別科修了式が挙行され、51人が進学コースを修了した。

修了式では、国際担当副学長から修了証書が授与され、式辞が述べられた。修了生は、いろいろな思い出を胸に、これからの飛躍を誓い、新たな世界へと飛び立った。また、修了式の後には、修了を祝して歓送会が行われた。

初等部第1回卒業式挙行
田中校長から64人に証書

3月18日、初等部の第1回卒業式が高槻ミューズキャンパスで挙行され、一期生64人の卒業生は、田中明文校長から一人ひとり卒業証書を授与された。

田中校長の式辞、江澤教育後援会長の祝辞と記念品贈呈の

後、卒業生は、お世話になった方々へ感謝の言葉と歌を送り、5年生からは、6年生へ感謝の言葉と歌が送られた。

髙橋・織田・町田を学長表彰 応援感謝し3人のトークイベントも

千里山キャンパス・第1学舎の千里ホールで4月21日、髙橋大輔（文M2）、織田信成（文M2）、町田樹（文4）3選手の学長表彰式兼ストップスケーター応援感謝会が開催された。

今回、3人が男子フィギュアスケート競技において国際的に顕著な成績を収めたため学長表彰を授与することになったもので、会場では約1200人が見守る中、緊張した面持ちの3人に楠見晴重学長から表彰状と記念品が贈呈された。

表彰式の後、3選手がそれぞれ挨拶。髙橋は「多くの方に応援していただき幸せだった。ソチ五輪で関大にメダルを持って帰ることはできなかったが、精一杯できたと思う」と述べ、織田は「現役を引退したが、関大から世界に羽ばたくトップスケーターを指導できるように頑張りたい」と挨拶。町田は「来期も僕らしく全力で邁進していく。世界選手権で金メダルを目指したいので、応援をよろしく」と抱負を述べた。

その後、ソチ五輪出場にあたって、支援をいただいた方々に感謝の気持ちを伝えるため、3人によるトークイベントを開催。トークイベントでは、3人ともリラックスした表情で、「今ほしいものは」との問いに、髙橋は「パートナー」、織田は「家」、町田は「単位」と答え、「フィギュア以外でなりたかった職業」では、織田が「公務員。安定しているから」、髙橋は「建築家やメーキャップアーティストなど安定していない職業に憧れる」と織田を意識した発言。町田は「医者」と回答。その他、休日の過ごし方や好きな音楽など質問は多岐にわたり、素顔が垣間見えるひとときとなり、会場は終始笑いに包まれていた。

弓道場建替工事が竣工 練習用巻き藁も9台に

3月18日、弓道場建替工事の竣工式が行われた。

1967年に竣工した弓道場は、正課体育授業や体育会弓道部の活動拠点として使用してきたが、長年にわたる使用により老朽化が進み、このたび建て替えが行われたもの。

新しい弓道場は、緑の矢道を四周囲い込み、更衣室も新設され、これまで3台しか置けなかった練習用の巻き藁を9台まで置くことが可能になり、より一層弓道に集中できる環境となっている。

山田耕筰自ら歌う学歌 SPレコード音源を公開

本紙第579号（26年1月15日発行）で紹介した「作曲者山田耕筰自ら歌う、関西大学学歌SPレコード見つかる」の、SPレコードの音源がこのほど年史編纂室から公開された。同レコードは、1924年（大正13年）頃、『関西大学学歌』作曲者の山田耕筰氏が関西大学の求めに応じて歌唱、録音したもの。

音源は、年史編纂室ウェブサイトで試聴できる。

「スーパーグローバルハイスクール」文科省26年度開始に高等部が指定受ける

関西大学高等部が、文部科学省の指定する「平成26年度スーパーグローバルハイスクール（SGH）」に選ばれた。

平成26年度から文部科学省が開始する「スーパーグローバルハイスクール」は、高等学校等において、グローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的とした事業で、26年度指定校として、全国の高等学校から56校（国立4校、公立34校、私立18校）が指定された。

事業概要としては、国際化を進める国内の大学を中心に、企業、国際機関等と連携を図り、グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材の育成に取り組む高等学校等を

「SGH」に指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備を進めるもので、指定期間は5年間（平成26年度から30年度）。

名誉教授称号授与式
学長が19人の教授に

名誉教授称号授与式が、3月24日に100周年記念会館で行われ、名誉教授規程に基づき4月1日付で称号を与えられた19人の教授一人ひとりに、楠見晴重学長から「関西大学名誉教授」の称号が授与された。（敬称略）

▼法学部＝栗田和彦教授、竹下賢教授、福瀧博之教授、山野博史教授▼文学部＝宇佐美幸彦教授、関屋俊彦教授、松浦章教授▼経済学部＝佐藤真人教授▼商学部＝鶴田廣巳教授▼社会学部＝岩見和彦教授▼外国語学部＝平田渡教授、福井七子教授▼総合情報学部＝鵜飼康東教授▼環境都市工学部＝盛岡通教授▼化学生命工学部＝荒川隆一教授、池内俊彦教授、土戸哲明教授▼大学院法務研究科＝山中敬一教授▼国際部＝カイト由利子教授。

なお、昨年12月23日に逝去された浜野潔経済学部教授には、12月23日付で名誉教授の称号が授与された。

関大人事
（4月1日付、敬称略）

【昇任】

〔法学部〕▼教授　石橋章市朗、寺川永、廣川嘉裕〔文学部〕▼教授　菅原慶乃、堀潤之▼准教授　森勇太〔経済学部〕▼教授　片山直也、後藤健太〔商学部〕▼教授　岸谷和広、木村麻子▼准教授　岩﨑拓也〔政策創造学部〕▼教授　西澤希久男〔人間健康学部〕▼教授　村川治彦▼准教授　小室弘毅〔総合情報学部〕▼教授　大堀秀一、田頭茂明、徳山美津恵〔社会安全学部〕▼教授　川口寿裕〔システム理工学部〕▼教授　伊藤博介▼准教授　田地川勉、山﨑和俊〔環境都市工学部〕▼教授　伊藤淳志、滝沢泰久、桝井健▼准教授　尾﨑平、豊田政弘〔化学生命工学部〕▼教授　西本明生、丸山徹▼准教授　内山弘章、中井美早紀〔大学院法務研究科（法科大学院）〕▼教授　上田真二

【新任】（カッコ内は専門）

〔法学部〕▼教授　津田由美子（ヨーロッパ政治史、比較政治）▼准教授　カライスコス・アントニオス（民法、消費者法）〔文学部〕▼教授　岩田彩志（英語学＝語彙意味論、語用論）〔経済学部〕▼准教授　熊谷幸久（西洋経済史）▼助教　岡田啓介（政治経済学、経済発展論）〔商学部〕▼教授　齊野純子（財務会計、国際会計）▼助教　髙内一宏（国際貿易論、産業組織論）〔社会学部〕▼教授　上野恭裕（経営学、経営管理、経営戦略）▼准教授　雪村まゆみ（文化社会学）▼助教　守谷順（人格心理学、臨床心理学、認知心理学）〔外国語学部〕▼准教授　ハンフリーズ・サイモン（コミュニケーション、応用言語学）〔人間健康学部〕▼准教授　福田公教（社会福祉学、子ども家庭福祉論、福祉実習）〔社会安全学部〕▼准教授　桑名謹三（損害保険論）、小山倫史（地盤・岩盤工学）、山﨑栄一（行政法、地方自治法）▼助教　秋山まゆみ（消費者法、経済法）、近藤誠司（社会心理学、社会情報学）〔システム理工学部〕▼教授　杉本信正（熱流体力学、非線形波動・振動論）▼准教授　小田豊（熱流体工学）、平田孝志（通信ネットワーク工学、情報ネットワーク）▼助教　大友涼子（流体力学、物質移動学）〔化学生命工学部〕▼准教授　住吉孝明（薬化学、有機化学）▼助教　細見亮太（食品化学）、山崎思乃（生物化学工学）〔法務研究科（法科大学院）〕▼教授　春日偉知郎（民事訴訟法）、森岡安廣（刑事訴訟法、刑事訴訟実務）〔教育推進部〕▼准教授　森朋子（学習研究、教育方法学）

【異動】

〔法学部〕上田真二教授、滝川敏明教授、辰巳直彦教授、竹下賢特別契約教授〔人間健康学部〕雑古哲夫教授

髙橋・町田らに大島賞を授与
体育会各部の覇業披露式も開催

平成25年度大島賞授与式と体育会覇業披露式が、3月13日に楠見学長、池内理事長、寺内校友会長、女川体育OB・OG会長、廣内教育後援会長ら役員と体育会各部選手が出席して、千里山キャンパス・ビッグホール100で開催された。

大島賞は、過去1年以内に全日本大会で優勝、または国際大会において3位までに入賞した団体および個人に授与し、覇業披露は体育会各部の試合において、過去1年以内に、関西優勝以上の戦績を収めた団体および個人を学長が表彰するもので、いずれも体育会全体の士気を一層高めることを目的としている。

なお、大島賞については、平成21年度から校友会も加わり、受賞者に副賞を授与することによって充実が図られている。

授与式では、第22回冬季オリンピックに出場し、入賞を果たした高橋大輔（M文2）と町田樹（文4）両選手を特別表彰。ISUグランプリファイナル3位の織田信成選手（M文2）や、第8回世界ジュニア&カデット・21アンダー空手道選手権大会女子個人形優勝の清水希容選手（文2）など国際大会で活躍した16人、第63回全日本学生賞典障害飛越競技大会団体優勝の馬術部など5団体と、第57回全日本学生テニス選手権大会女子シングル優勝の藤原悠里選手（人4）ら個人16人に、楠見学長から表彰状とメダルが、寺内校友会長から副賞が手渡された。

続いて行われた覇業披露式では、全日本大会2～3位の団体6団体、同個人26人、関西及び西日本大会優勝の団体6団体、同個人11人に、学長から表彰状が授与された。

体育会応援の諸団体に OB・OG会長が感謝状

体育OB・OG会（女川隆会長）では、2月25日、日頃から体育会各部が大変世話になり、応援して頂いている応援団、関大スポーツ編集局、学生トレーナー部の4回生幹部に、女川会長から感謝状を贈り、心から感謝の意を表した。

応援団は、村上雄紀第91代団長はじめリーダー部9人、バトンチアリーダー部9人、吹奏楽部9人、関スポ編集局は、木下優新編集局長ら7人に、学生トレーナー部は、殿村みづき代表、星野道子副代表の2人に贈呈した。

（体育OB・OG会　西田幸弘）

飛鳥川清掃と山桜植栽 学生27人が地域連携で

奈良県明日香村で3月2日、学生が飛鳥川の清掃作業と山桜の植栽を行った。

この取り組みは、飛鳥川の清流復活と環境美化、景観形成などを目的に、明日香村と関西大学の地域連携事業として実施。関西大学の学生27人を含む約70人が参加した。

当日は、飛鳥川の清掃活動を行った後、明日香村栢森神奈備の郷・川づくり整備区域内で10本の山桜の植栽も行った。

文化フェスティバル 多彩な企画で成果発表

文化会27団体の学生が力を集結させ、日頃の活動成果を披露する「文化フェスティバル2014」が、4月11日～28日に千里山キャンパスで開催された。

昭和60年から続けられている春の大学を盛り上げるイベントで今年29回目を迎えた。開催初日には、悠久の庭でオープニングセレモニーが開かれ、催しの成功を祈って恒例の風船飛ばしが行われ、色とりどりの風船が大空に放たれた。

その後、「調和と衝突～群れ咲く文化の花々～」をテーマに、ギタークラブ・邦楽部・マンドリン倶楽部・交響楽団による合同企画「春の和洋折衷　Strings Concert with 尺八」や美術部・書道部合同展示、文芸部・写真部合同展示「春」などの合同

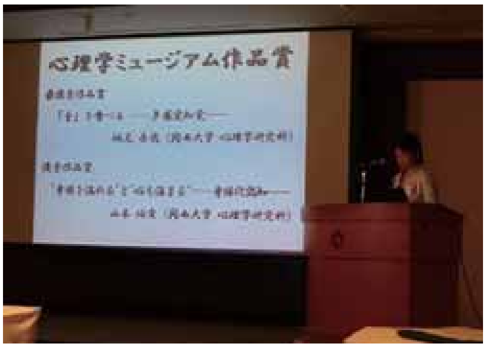
THINK PRINTING　印刷する会社から印刷を考える会社へ

東洋紙業高速印刷株式会社
〈本　社〉〒556-0029　大阪市浪速区芦原2丁目5番56号
TEL　06(6567)0511(代)　FAX　06(6567)1539
広島営業所/九州営業所

企画、演劇研究部学園座の新人公演「有毒少年」、奇術研究部の「マジックショー」、軽音楽部の「新入生歓迎ライブ」などの単独公演、探検部・ユネスコ研究部などの単独展示などが、悠久の庭、KUシンフォニーホール、凛風館1階などで行われ、多くの学生が楽しんだ。

心理ミュージアム出品 院生2人の作品が入賞

公益社団法人日本心理学会が運営する「心理学ミュージアム」に、大学院心理学研究科の坂元亮哉（M2）と山本佑実（M2）の2人が、それぞれ作品『音を食べる―多感覚知覚―』と『"体を温める"と"心も温まる"―身体化認知―』を出品し、坂元さんが最優秀作品賞、山本さんが優秀作品賞を受賞した。



「心理学ミュージアム」は、公益社団法人日本心理学会が行う社会貢献の一つで、研究成果の一端を作品としてウェブサイトに公開し、心理学に関わる職種の人だけでなく、心理学に興味のある多くの人に楽しみながら学んでもらうことを目的としている。

2人の作品は、心理学ミュージアムのウェブサイトで見ることができる。

世界フィギュアスケート選手権で 初出場の町田樹が銀メダルを獲得

3月26～30日に、さいたまスーパーアリーナで開催された世界フィギュアスケート選手権大会2014で、初出場の町田樹（文4）が男子シングルで2位に入り、銀メダルを獲得した。

ソチ五輪を経験してワンランク飛躍した町田が、シーズン最後となる初出場の世界選手権で花を咲かせた。ショートプログラム（SP）で98・21の高得点を出しトップに立った町田は、フリーでも冒頭の4回転トーループをはじめ3回転半―3回転の連続ジャンプや単発の3回転半でも、不安を封じ込め、自らの実力を発揮。184・05点を出し、合計282・26点の自己ベストを記録した。しかし、SP3位の羽生にフリーで逆転され、僅か0・33点の差で惜しくも2位となった。

第37回総合関関戦は 6月13～15日関大で

昭和53年から続く関西大学と関西学院大学の体育会各クラブの対抗戦「総合関関戦」は、第37回を迎える今年は、6月13日(金)から15日(日)の3日間、関西大学千里山キャンパスをメインに開催される。

これまで、木～土曜日の日程で開催されていたが、今年は金～日曜日の日程となった。

世界ジュニアフィギュア 宮原知子（高1）が4位

3月12～16日にブルガリアで開催された世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会で、宮原知子（高1）が、女子シングルで4位に入賞した。

ショートプログラム（SP）4位の宮原は、フリーも4位となり、合計177・69点で4位。ロシア勢が3位までを占めた。

ネット契約で保険料を節約！まずはお見積から。
関西大学生協グループ
自動車保険 そんぽ24 http://www.union-sv.com/car
海外旅行保険 損保ジャパン OFF http://www.union-sv.com/travel
保険事業部・オフィス事業部
総合保険代理店
Risk Consultant & Financial Planner
株式会社ユニオンサービス
info@union-sv.com http://www.union-sv.com
本 社 豊中市新千里北町2-20-8 TEL0120-50-5421 ／ 関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内

おめでとうございます―春の叙勲・褒章

政府は、４月29日付で平成26年度春の叙勲受章者を、28日付で褒章受章者を発表した。それに先立ち４月16日付で危険業務従事者叙勲受章者を発表した。

校友会事務局で確認できた関西大学関係者は次の皆さん。心から祝意を表します。

なお、調査は近畿２府４県を中心に行っていますが、万全ではなく、未掲載の受章者をご存じの方は校友会事務局へご連絡くださいますようお願いします。

掲載は、氏名・卒業年学部・年齢・職業・住所の順。敬称略。

叙勲

◇旭日中綬章

竹中弘忠（たけなか・ひろただ＝昭36学経）75歳。日本ねじ工業協会会長。大阪狭山市。

橋本昇治（はしもと・しょうじ＝昭36学経）75歳。元大阪府議会議員。四條畷市。

山田庸男（やまだ・つねお＝昭42学法）70歳。元日本弁護士連合会副会長。大阪市。

◇瑞宝中綬章

岡田至雄（おかだ・よしお）79歳。名誉教授・元社会学部教授。宇治市。

國府　剛（こくふ・たけし）78歳。名誉教授・元法学部教授。奈良市。

辻本三代太郎（つじもと・みよたろう＝昭44Ｍ法）71歳。元大津地検検事正。大阪市。

西田一彦（にしだ・かずひこ）79歳。名誉教授・元工学部教授。茨木市。

◇瑞宝小綬章

朝倉通憲（あさくら・みちのり＝昭40学２法）72歳。元大阪区検副検事。高槻市。

尾﨑　勉（おざき・つとむ＝昭41学法）70歳。元大阪府監査委員事務局。東大阪市。

金岡　勝（かなおか・まさる＝昭40学２法）71歳。元京都簡裁判事。堺市。

楠　征洋（くすのき・まさひろ＝昭41学商）70歳。元公立高校校長。奈良県北葛城郡広陵町。

坂上　博（さかがみ・ひろし＝昭41学法）70歳。元神戸家裁少年首席書記官。神戸市。

橘多加男（たちばな・たかお＝昭41学商）70歳。元大阪市消防正監。明石市。

◇旭日双光章

片倉道夫（かたくら・みちお＝昭25学経）87歳。元日本レクリエーション協会理事。西宮市。

加藤博司（かとう・ひろし＝昭38学文）73歳。鳥取県バドミントン協会会長。鳥取市。

宮谷昭広（みやたに・あきひろ＝昭43学２法）70歳。元日本司法書士会連合会理事。松原市

◇瑞宝双光章

青木秀夫（あおき・ひでお＝昭34学２法）83歳。元大阪府労働部職業業務課長。大東市。

小倉和美（おぐら・かずみ＝昭34学２文）78歳。元公立小学校校長。神戸市。

菊谷浩直（きくたに・ひろなお＝昭39学２経）72歳。保護司。奈良県吉野郡川上村。

小路　清（しょうじ・きよし＝昭29学２法）85歳。元公立中学校校長。大阪府南河内郡太子町。

竹川　浩（たけがわ・ひろし＝昭36学法）75歳。保護司。大阪市。

中川克己（なかがわ・かつみ＝昭41学文）70歳。元公立小学校校長。奈良県生駒郡平群町。

三浦喜光（みうら・よしてる＝昭28学２文）85歳。元公立小学校校長。大阪府南河内郡太子町。

◇瑞宝単光章

中務直一（なかつかさ・なおかず＝昭30高１）77歳。元西宮市消防団分団長。西宮市。

危険業務従事者叙勲

◇瑞宝双光章

宇原逸郎（うはら・いつお＝昭41学法）71歳。元警視正。尼崎市。

柏原栄俊（かしはら・えいしゅん＝昭43学２法）71歳。元大阪府警部。生駒市。

谷口　治（たにぐち・おさむ＝昭44学商）67歳。元姫路市消防監。姫路市。

原　洋治（はら・ひろじ＝昭40学法）71歳。元警視正。神戸市。

古田　實（ふるた・みのる＝昭41学法）72歳。元兵庫県警視。芦屋市。

前田光代司（まえだ・みつよし＝昭44学商）67歳。元京都市消防司令長。京都市。

◇瑞宝単光章

飯田孝治（いいだ・たかはる＝昭41学法）71歳。元大阪府警部。東大阪市。

岡畑真人（おかはた・まさと＝昭40学法）71歳。元三重県警部。津市。

小山起由（こやま・きよし＝昭42学文）70歳。元和歌山県警部。和歌山市。

西野徹夫（にしの・てつお＝昭49学２法）66歳。元大阪市消防司令長。堺市。

正岡英二郎（まさおか・えいじろう＝昭51Ｍ工）64歳。元大阪市消防監。尼崎市。

松岡敏晴（まつおか・としはる＝昭40学２商）71歳。元兵庫県警部補。加古川市。

水田謙二（みずた・けんじ＝昭46学社）66歳。元摂津市消防司令長。箕面市。

山本秀樹（やまもと・ひでき＝昭41学商）71歳。元兵庫県警部。三木市。

褒章

◇黄綬褒章

河内國平（かわち・くにひら＝昭41学法）72歳。刀匠、國平鍛刀場代表者。奈良県吉野郡東吉野村。

松原博之（まつばら・ひろゆき＝昭47学工）64歳。元エクセディ開発本部材料技術室長。寝屋川市。

◇藍綬褒章

玉里光三（たまざと・みつぞう＝昭38学２商）74歳。保護司。枚方市。

吉岡孝夫（よしおか・たかお＝昭45学２商）67歳。調停委員。奈良市。

2014 スプリングフェスティバル

肌寒い一日ながら全国から4000人集う
野点など催しは昨年に続き屋内での開催に

創立100年の年に、充実・発展する母校の姿を校友に見てもらおうと始められた校友会の一大イベント「2014スプリングフェスティバル」は、創立128周年を迎える今年も大学の全面的な協力を得て、4月6日の日曜日に千里山キャンパスで開催された。

昨年に続き今年も桜の開花が早く、1日の入学式の時には既に満開。しかし、その後寒の戻りで桜は残ったものの、当日の天候は時折にわか雨が降る肌寒い一日となった。万全を期し、野点と俳句コーナーは凛風館1階で、歓迎セレモニーはBIGホール100での開催となった。

この日、母校を訪れた校友とその家族は、春嵐の予報だった昨年を若干上回り関東、北陸、東海、中国、四国、九州といった遠隔地も含めて約4000人。大学の協力で総合図書館、博物館、年史資料展示室など開放された各施設ではそれぞれに特別企画展を開催。参加者は、貴重な資料の展示や大学の歴史を示す資料を熱心に見て回っていた。

また、教室等で総会や懇親会、現役OB交流会などを開催した団体は67団体で、あちこちで「確かめよう青春！深めよう友情！高めよう母校愛！」のスローガンを実践する姿が見られ、歓迎セレモニーでは、応援団の演舞・演奏に熱き血潮をわきたたせていた。

「見える学びを街へ」では
長岡教授の研究成果を発表

総合図書館前から並ぶテントブース。今年、一番手前には他のテントとは色も形も違うテントが1張。

関西大学では、地域や社会との連携を積極的に進めており、スプリングフェスティバルでも「見える学びを街へ」と題して、先生の研究成果を発表していただいているが、3回目の今回は、メインテントで、化学生命工学部の長岡康夫教授に、「化粧品の科学― 毛髪の美しさを求めて」と題して研究成果を紹介してもらった。

研究室のメンバーは、訪れた人たちの毛髪を顕微鏡で観察、ディスプレイを見ながら、「健康です」、「少し傷んでいます」など診断。併せて、この研究がきっかけとなり開発された毛髪化粧品などを紹介。アンケート回答者には毛髪化粧品のサンプルが進呈された。

テントブースは大賑わい
東淀川は五感特製ケーキ

続いて、色とりどりの風船で参加者を迎えるお馴染みの吹田支部・吹田市行政相談のテントから、3年連続参加の淡路支部、その横には初のテント参加で、「五感」の校章入りロールケーキ、マドレーヌを販売した東淀川支部、葦文会と合同参加の住吉支部、西淀川支部、関大グッズ等販売の生協テント、女子秀麗会と続き、最後にコールテクニカ「ウイーンの森の物語」と並んだ。

各テントとも特産品や会員持ち寄りの品物を格安で販売したり、会員同士の交流を図るためコーヒーや飲物を振る舞ったりと、例年どおりの賑わいを見せていた。

向かい合って第2学舎2号館横には、一高同窓会の餅つきテント。相変わらずの人気だが、今年は保健所の指導もあり、参加者には「ぜんざいコーナー」で対応した。

また、総合図書館前の校友会受付テント横では、10時20分から応援団による歓迎演舞・演奏が行われ、終了後には、同場所で正副会長が菰樽の鏡開きを行い、樽酒が参加者に振る舞われた。

凛風館1階では野点と
俳句、寄席の会場設営

例年、悠久の庭に設けられる野点会場と俳句コーナー。昨年に続き天候の関係から万全を期し、凛風館1階に設営された。それでも開始早々から多くの参加者が訪れ、お点前でもてなす部員たちは忙しそうに接待していた。

「春の俳句大賞」を募集した隣の「俳句コーナー」には、野点を楽しんだ家族連れの人や、落語大学学生による「さくら寄席」を楽しんだ人も揃って句作に励んでいた。

大勢の留学生参加に拍手
超満員のセレモニー会場

午後1時、第2学舎BIGホール100で、総務部の草川大造副部長と太平信恵部員の司会のもと歓迎セレモニーが始まった。

この歓迎セレモニーには、この日、国際部とKUブリッジ及び留学生会主催（校友会後援）の「大お花見会」に出席した約400人の外国人留学生や一般学生も参加、大きな拍手を受け、一緒にアトラクション等を楽しんだ。

学歌斉唱の後、まず寺内会長が主催者挨拶。寺内会長は「2年後に130周年を迎える長い歴史と伝統の関西大学。そこを卒業したOBが、年に一度桜の母校に集まり、同期や先輩・後輩と学生時代の思い出を語り合い、社会に出てからの人生を語

り合う。そんな伝統が29回目を迎えた。関西大学を卒業してよかったという気持ちで一杯です。今日は多くの留学生に参加頂いているが、関大で日本の文化や歴史を学び、そして新しい友達を見つけていただきたい。また、母国に帰られた時、日本文化の伝統として、この催しを思い出していただけたらと思う。また、校友の皆さんには、あらゆる面で頑張っている母校に対し、120周年以上に物心両面にわたりご協力をお願いしたい」と歓迎の言葉を述べ、現在の心境を「荒城の月」の熱唱で披瀝した。

池内啓三理事長は、「心の故郷にようこそお帰りくださいました。関西大学の学生・生徒は3万5000人を超え、3500人の教職員が、彼らに本来の力を付けてやるために頑張っている。また、130周年記念事業として5つの事業を立ち上げた。総事業費40億円で、20億円を募金で賄いたい。大学が発展していくためには必要な事業で、是非ご協力をお願いしたい」と協力を要請した。

楠見晴重学長は「応援団長、副団長が女性で、驚いた校友の方もおられると思うが、大学では約4割が女子学生である。リクルート社が現役高校生に毎年行っているアンケートで、志願度は関西圏ではここ数年関大が第1位であり、女子高校生の志願度は高い。今日は、130周年イベントの1つとして図書館開設100周年・博物館開設20周年の企画展等を行っているので、是非見学していただきたい」と述べた。

挨拶の後、会場を埋めた参加者は、学生ダンスサークル・漢舞と応援団リーダー部・バトンチアリーダー部・吹奏楽部の演舞・演奏を楽しみ、逍遥歌を声高らかに合唱して、ひととき学生時代にかえった。

俳句コーナーから
桜吹雪、ときどき雨……の中で

1週前の陽気とは、打って変わって寒い一日。それでも名残の桜は美しく、折々、風に舞う花吹雪に、あちこちから歓声が。

雨を避けて凛風館1階での開催となった俳句コーナー。今年のトピックスは、過去に「春の俳句大賞」を受賞された方が次々と来訪されたこと。昨年の大賞受賞者中尾恭史さんをはじめ、大阪中央支部の元支部長・前田修二さん、貝塚支部再興を前に、決意を表した句で受賞された岡本俊彦さんほか。

永き日や　ぶらり母校に　遊びけり　岡本俊彦（37学法）

関大に　花満ちて友　集い来し　城　洸造（44学商）

学縁と　桜おもてなし　千里山　三木允子（42学文）

いまや恒例となった春祭の、情景を描写した句をご紹介。

母校訪ふ　白髪に受く　花の雨　中出乙淡（44M法）

杵つけよ　桜の花を　散らすほど　田中義昭（43学文）

法学舎　花のまろうど　集いけり　穐山常男（50学法）

春雨や　飛鳥美人の　目になみだ　新谷里美（50学文）

手をとって　あなたと出会う　花いかだ　太平信恵（平3学法）

43年ぶりに下宿仲間が参集！　広島の広岡史子さんは、早朝4時起き。「昨夜はドキドキして眠れなかった」と。ライターとして活躍中の武枝幸子さん、中学教諭を退職し趣味の短歌に勤しんでいる吉田和代さんの3人です。

春の旅　友の招きに　足躍る　吉田和代（48学文）

現役4回生の皆さんも作句にトライ。野点をサポートしていた文化会本部役員4人組の入澤栄介さん、坂口望実さん、影山亮人さん、水崎貴紀さん。就活、がんばって。

陽が昇り　文化の桜　咲き誇る　影山亮人（経4）

桜咲く　千里山の地で　考動す　水崎貴紀（社4）

今年3月に定年退職されたシステム理工学部の北嶋弘一名誉教授の、心模様が見える2句でお開きに。先生、お疲れさまでした。

何人の　学生送り　門桜

わが心　幸せ色に　桜染め　北嶋弘一（44M工）

（広報部　西野京子）

なお、今年の「春の俳句大賞」入賞作品は、審査の結果、次のように決定した。

〈大　賞〉

咲くほどに　寡黙になりし　桜花　穐山常男（50学法）　八尾市

〈優秀賞〉

バギーから　のぞく吾子も　桜色　寺岡敦子（平24学文）　吹田市

〈佳　作〉

還暦が　母校に集う　桜時　林　明倫（53学経）　総社市

亡き父と　見上げし桜　今もあり　高市純行（63学経）　大阪市

母校訪ふ　白髪に受く　花の雨　中出乙淡（44M法）　泉南郡

2014 スプリングフェスティバル

支部として15人初参加 桜吹雪の中、学内巡る
―名張支部

支部として初参加のスプリングフェスティバルは、花冷えの一日でしたが、大変思い出深いものとなりました。

若山東男支部長（40工）以下15人と少ない人数の参加でしたが、お借りした第2学舎3号館の教室では、寺内校友会長からご挨拶をいただき、昼食・懇親会を開催。歓迎セレモニーに参加の後、学生当時想像もできなかったくらい立派になった学内施設・キャンパスを、さくら吹雪のなか駆け巡りました。

あっという間のひとときでしたが、母校を懐かしく、誇らしく、今の関西大学の姿を目に焼き付けてきました。6月21日（土）開催予定の支部総会で、参加できなかった仲間に報告しなければなりません。

（47商 斉藤健）

久しぶりに来て感動した ゆるキャラで島のPRも
―淡路支部

校友の交流と淡路島のPRをしようと、貸切バスに30人乗って参加しました。

ゆるキャラ二体（いぶし瓦の銀さん、ゆめるん）とのぼり旗、大漁旗をテントブースに立てかけ雰囲気を盛り上げます。淡路島名産の玉ねぎ、レタス、海産物は待ってましたとばかりにお客さんが集まり、またたく間に完売となりました。さらに、淡路島の観光地のパンフレットの袋詰め200部もあっという間に完配しました。

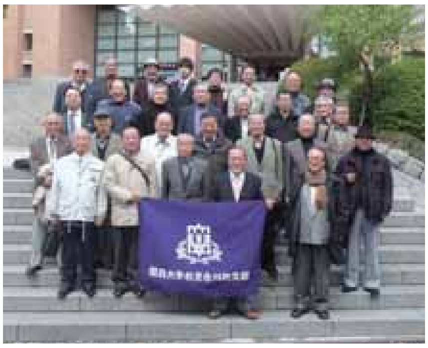
初めて参加された校友は、「久しぶりに来て感動した」「ゆるキャラをかぶって童心にかえった」と大変喜んでいただきました。

また、淡路支部のテントに訪れる友人が今年は特に増えて、テントはさながら交流の場となりました。

帰りのバスでは、「来年も参加したい」との声も挙がり、淡路支部もフェスタに少しずつ定着してきたかなと実感した一日でした。

（副幹事長 佐渡達史）

支部発足60周年で 事業・総会話し合う
―川西支部



スプリングフェスティバルに支部として参加するため、役員会を千里山学舎で開催し、フェスティバル参加と交流・親睦を図る機会にしています。

特に今年は、支部発足60周年を迎える年に当たり、事業・総会等を特別なものにしようと話し合ったものです。

今年も30人が集まり、記念写真を撮った後、ビッグホールで開催された歓迎セレモニーに参加しました。300人以上の留学生紹介、寺内会長の「荒城の月」のサプライズに驚き、女性の応援団長、副団長にも隔世の感を感じながらチアリーダー部の演技を堪能させていただきました。

関西大学の益々の隆盛と校友の学縁の進展を願っております。

（荒木敏雄）

支部間の温度差を超え 年2回の交流会開催へ
―北河内地区連合会

昨年のスプリングフェスティバルにおいて発足した北河内地区連合会が丸1年を迎え、第2学舎1号館に一室を借りて交流会を開いた。

連合会では、この1年間、各

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質＆マナー」･「環境」･「安全」の向上を通じ、オーナー様･ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5

Tel 06(6941)3306 URL: http://www.obsf.co.jp

OBS facilities since1973

Intertek MOODY INTERNATIONAL

Clean Cordial Creative Convenience

支部の正副支部長や幹事長などが中心に会合を重ね、今年2月に親睦バスツアーも実施した。

しかし、支部によってどうしても温度差があるため、この日、守口支部が当番支部となり、篠原勝幹事長が進行役となって、今後の連合会のあり方について忌憚のない意見交換をした。

せっかく作った組織であり、同じ関大を出た校友なのだから、支部の枠を超えた交流を積極的にしようという支部もある一方で、支部あっての連合会だから、まずは支部の足腰を強くしたいという意見などが出た。

1時間以上にわたって活発に話し合いの結果、今後は毎年2回、スプリングフェスティバルと校友総会の日に交流会を実施することと、各支部の行事にそれぞれが参加を呼びかけることで意見がまとまった。

最後に参加者全員が自己紹介をし、図書館前で記念撮影をして解散。それぞれ歓迎セレモニーが行われているBIGホールに向かった。

(守口支部副支部長　山本護)

心に熱いものを抱きながら帰路に
―高石支部

やや寒いながらも桜も見頃で、久しぶりに登校したOBを温かく迎えてくれた。

支部としては今回2回目の参加で、体調等の理由で残念ながら6人のみの参加となった。

当支部員で一高OB、応援団OBのK氏よりつき立ての餅を賜り、拝借の経商学舎で食した後　学園巡りとなった。

あの頃は、ここは確か何々や…、あの学舎はどうしたかな…、と話しつつ極彩色の高松塚壁画の石室のレプリカの素晴らしさに感嘆しながら、呼びかけ頂いた応援団OB長柄会・スポーツマンクラブ・司法書士関大会合同の懇親会場へ。伊丹支部、平野支部も加わり、同好会のクレアーズの力強い若さ溢れるチアー演舞を存分に味わった後、歓迎セレモニーのBIGホールに向かった。

花冷えの厳しい日だったが、母校を訪ね、心に熱いものを抱きながら帰路についた。

大きな支部でも総会参加者が少ないと聞きます。昨今、大阪市内連合等、支部連合の話を聞きます。私どもでも泉州連合の動きがあります。1支部で為し得ないことを連合体で対処するのも一方法かとも思います。

是非、スプリングフェスティバルに母校を訪ねて欲しい一心から申し上げます。

(支部長　陸田弘行)

樽酒いただき会場へ 生協の桜弁当に舌鼓
―堺支部

堺支部メンバーは、桜吹雪の中、受付先で樽酒を頂き、第2学舎A309教室に集結した。教室は47年ぶりの参加者もあって華やいだ。関親会天井会長の挨拶、隅谷支部長の乾杯後、生協の桜弁当に舌鼓を打った。

巡回中の寺内校友会長からご挨拶を受けたのち、ビッグホール100での歓迎セレモニーに参加した。会場は立見が出るほどであった。学歌斉唱後、校友会長、理事長、学長の各挨拶を拝聴。ダンスサークル、応援団リーダー部・バトンチアリーダー部、吹奏楽部の演舞・演奏に、いつしか学生時代に戻ったように母校へ熱き思いを抱き、来る130周年記念に向けての決意を新たにし、逍遙歌で閉会。各自思いのまま母校を後にした。

(事務局　鍋島均志)

行商とテント販売 ともに午前中で完売
―住吉支部

桜満開、しかし花冷えの朝、9時前学内テント村に集合。今年の行商販売品は、住吉さん(住吉大社)のどら焼き、関大創始者『児島惟謙』の日本酒の紙コップ売りと4合瓶の1本売りでした。テント販売は、それに加えて野村校友が前日から仕込んだ愛情おでん!

行商販売チームは、優秀な現役学生のナビでスムーズに各支部・各会合の教室に訪問でき、また、先輩方も快く我々を受け入れて下さり、お蔭様で12時前に完売してしまいました。ありがとうございました。

テント販売チームも、2000円でビール焼酎飲み放題&愛情おでん食べ放題等で葦文会、住吉支部、近隣支部の会員21人の皆さんに、和気あいあいと楽しんで頂き、完売いたしました。ありがとうございました。

そこで小林支部長、「こんなに早く完売してしまった。来年はどら焼き200箱、『児島惟謙』の日本酒は48本入荷しよう!」とやる気満々! そればかりか、創立130周年記念事業の一つとして、児島惟謙先生の故郷四国宇和島を訪ねるツアーを企画中です。なぜ『児島惟謙』というネーミングのお酒が生まれたかのヒストリーツアーでもあります。この機会にわが母校のルーツに迫りたいものです。詳細が決まり次第お伝えいたします。ご興味のある方は、支部長小林(090―3978―0551)までお問合せ下さい。

(広報　友成純子)

平21院卒の若手も参加 マジックショー楽しむ
―大阪中央支部

お天気が心配されたが、まずまずの花見日和の中、例年の通り第2学舎の教室で、11時半から大阪中央支部懇親会を開催した。

今年は、藤原達史氏(平21法科大学院)が新しいメンバーと

して参加してくれ、若手不足の当支部にとっては嬉しいニュースとなった。

お弁当を食べながら、お馴染みの斉城校友のマジックショーを楽しんだが、毎回、次々と新ネタを出してこられる、先輩の研究熱心さには本当に驚かされる。

わいわいガヤガヤと大いに盛り上がり、丁度、教室に入ってこられた寺内校友会会長を囲んでの記念撮影の後、歓迎セレモニーの行われるビックホールへと移動した。

https://picasaweb.google.com/kwandai

（広報部長　矢野茂）

関大人脈の広がりで新たな展開を予感
― 平野支部

平野支部（田中義信支部長）は、3号館D103教室で懇親会を開いた。

今回は、支部参加行事の打合せ等などはなく、久々のフリートークとなった。本部で組織部長を務める田中支部長が、各地の活動状況を話すと、そこの副市長、関大で同期やで、などの発言が飛び出すなど、関大人脈の広がりによる新たな展開を予感させられた。

やがて、応援団OB長柄会、スポーツマンクラブの懇親会場より中座して参加の大江副支部長に、手を引かれるようにして法文坂を上がり、また改めて乾杯。歓迎セレモニーへの参加すら忘れ去るほど時間は早く過ぎ去った。歓待下さった皆さまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

（長野隆哉）

教室で生協弁当食べ人生談義、経済談議
― 西成支部

校友会さんに手配して頂いた教室で、生協さんにお願いした弁当を美味しく頂きながら、吉村支部長を中心に、和やかに人生談義や経済談議に花を咲かせました。

その後1時からの歓迎セレモニー会場へ移動して校友会長、理事長、学長さんの挨拶を拝聴しました。その後、司会者が応援団長が女性である旨を紹介すると会場にどよめきが走り、改めて最近の女性パワーの力強さを認識しました。

セレモニー終了後、自然散会になりました。（幹事長　花岡宏）

ビンゴであがるまで気をしっかり持って
― 鶴見支部

寒い朝、震えながら集合し、会場の教室にヒーターを入れる。11時前にやっと顔がそろう。「つるみdeあそぼうよ」のスタート。迫匡支部長（40商）の挨拶に続き、グットタイミングで本部から田中義昭副会長らが、鶴見支部の会場へご挨拶に見えました。

南畑幹事長（47工）の司会でビンゴゲームへ。子供向きの景品がずらり、「さあ！ ビンゴであそぶぞ」、1歳の赤ちゃんから71歳のじいじまで、必死で「番号あったぁ！」の歓声。気をしっかり持って上がりのビンゴまで、ぼちぼちリーチの声がかかると、よそから「まだ全然ないわ」と焦る声も。

■正規取扱メーカー／ロータスカーズ、ケータハム、モーガン、アルファロメオ、フィアット、シトロエン
<その他取り扱い車種> メルセデスベンツ、BMW、ポルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、プジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般
ホームページ最新ニュース<What's New>毎日更新！　jiron で 検索

JIRON ジロン自動車株式会社
昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司
http://www.jiron-auto.co.jp
〒556-0001 大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
●営業時間：〈平日〉9:00～19:00〈土・日・祝〉10:00～19:00 年中無休 ※年末年始は除く

やがてビンゴの続出ラッシュ。あっという間にみんな子供に返って景品を手に「これ、ええやん」の歓声の渦に。ビンゴであがった全員は景品を持って記念撮影の栄誉に輝きました。
　朝が早かったので、全員腹ペコ。おいしいお弁当とお茶に大満足。「さあ、これから歓迎セレモニー会場へ」
（幹事長　南畑吉晃）

ええもん東淀川テント初出店
―東淀川支部

例年の教室での懇談会から、今年はテント出店を計画し、支部会員である五感・プチプランス、浅田美明社長の協力を得て実施した。
　関大校章入りのお菓子と、温かいドリップコーヒーで、支部役員が来店の皆さんを「おもてなし」する企画が大当たり！お菓子は午前中で完売、慌てて補充と、初めて尽くしのイベントでした。
　校友ならではのお手伝いや、ご来店をいただいた寺内会長はじめ、皆さん、本当にありがとうございました。
（幹事長　田中康二）

総会のあと近況報告セレモニーも楽しむ
―ＪＲ関大会

肌寒く、天候が優れない中ではあったが、第１学舎１号館の教室で「ＪＲ関大会」を開催した。
　幸い、桜が満開で、桜並木の中を教室に向かうと大きなクスノキに迎えられ、懐かしい学生時代を思い起こさせてくれる。
　今回の参加は17人で、総会と近況を話し合った後、教室で弁当を食べながら暫し歓談し、その後歓迎セレモニーを楽しむこともできた。
　これからも、家族連れを含め、花見の行事の一つとして、スプリングフェスティバルに参加して貰えるよう、会員に宣伝していこうと思っている。
（小西ひさし）

燈田会長ら11人で参加
―関西大学会計人会

桜たけなわの4月6日、千里が丘に校友が集い、第29回目のＳＰフェスティバルが開催され、燈田進会長始め総勢11人で参加

留学生200人、学生100人が歓迎セレモニーに参加

　この春、関西大学には本科160人、交換留学生50人、別科20人、上位年次生70人、合計300人の留学生が在籍しています。
　昨年までは校友会が留学生を歓迎セレモニーに招待していましたが、今年は留学生会と留学生のお世話をする学生団体KU Bridge が中心となって、学生側から積極的に参加することになりました。留学生200人、一般学生100人が会場のBIGホールの1階、2階席に着席すると、国際色豊かに若い活気にあふれ、紹介されると会場から大きな拍手がわき起こりました。
　留学生会長の何（か）君（経3）とKU Bridge代表の岩堀君（化学生命3）がタックルを組み、関西大学国際部が支援して実現したことです。留学生会とKU Bridge は合同で、当日の朝から「大お花見会」を開催し、様々な趣向を凝らして新しく入った留学生を歓迎。留学生が孤立しないよう、大学生活にスムーズに入れるようにと企画したイベントで、その一部として歓迎セレモニーに全員参加を決めたということです。
　学内で、学生と留学生が盛んに交流し、関西大学の国際化が進んでいる一面を垣間見た思いです。また、校友と学生・留学生が出逢う、貴重な時間となりました。
（広報部　山本淑子）

した。

関西大学会計人会とは、関大出身の公認会計士及び税理士の有志でつくる親睦団体で、お互いの資質の向上に努めている。

昼弁当を挟みながらの意見交換会と、午後1時からの女性応援団長はじめ現役学生の歓迎式典で、暫くの間、青春時代の思いに浸っていた。

（副幹事長　前　義信）

メンタルヘルスに関する講演を拝聴
―社会保険労務士関大会

花冷えの寒い日であったが、桜満開のキャンパスに42人の会員が集った。

社会保険労務士関大会では、毎年、関西大学に縁の深い講師にお招きしご講演いただいている。今年は、社会学部卒で、現在、大阪医科大学神経精神医学教室において臨床心理士としてご活躍の川端康雄先生にお越しいただき、「働く人のメンタルヘルスの現状と課題」というテーマで、精神疾患の症状および各疾患の対応についてお話いただいた。

特に、最近新たにみられる「新型うつ病」や「躁うつ病Ⅱ型」については、従来型との違いを分かりやすくご説明いただき、また、広汎性発達障害についても良くまとめられた資料や映像とともに詳しくご説明いただいた。

我々社会保険労務士にとって、労務管理上、メンタルヘルス対策の知識はもはや必須となっているほか、障害年金申請においても、需要が増している分野となっている。川端先生、とても有意義で充実した内容のご講演をありがとうございました！

続いて、場所を以文館に移し懇親会が開催された。ご講演いただいた川端先生を交え、ビール、ワインを飲みながら始終和やかな雰囲気でお互いの近況報告や、情報交換を行い、交流を深めた。

（山中正利）

入会希望者ら9人集合　亀田健二教授の講演も
―行政書士秀麗会

行政書士秀麗会は、会員・校友の集いを開催した。当日は、第1学舎に関大出身の会員及び入会希望者が9人集まり、今までの活動が報告された。

また、当会は政策創造学部の亀田健二教授（行政学・国法学）を顧問に委嘱し、当日は亀田教授による講演会も行われた。亀田教授による行政法学の講演は、大学時代に戻ったかのような感銘を受けた。

昨年8月の再始動以後、当会の活動は積極的に行われており、会員数も20人を超えるに至ったことは幸いであり、今後も積極的に行政書士会員に加入を呼びかけ、会を盛り上げることとしたい。

（奥田聡・平13法）

速記部現役が全日で50連覇達成
OB会が主催して祝賀会を開催

今年のスプリングフェステイバルは、花冷えのする、桜満開の中で開催されました。

現在の速記部ＯＢ会会長である前田聰氏（43仏文）は、平野区で生花店を営んでおられ、41年度の速記部主将でもあります。

毎年スプリングフェステイバルでは総会を開催し、現役との交流をはかっておられます。今年は50人近くが集われ、私も久々に参加させていただきました。あっという間に時は学生時代に戻り、いつまでたっても大切な青春の一ページとなっています。

昨年、現役速記部が全日本大学速記競技大会で50連覇を達成、その偉業をたたえ、今年の総会のあとは、新関西大学会館のレストラン・チルコロで祝賀会が開催されました。

「ＯＢ会は、会員1,100人を有し、皆さん、各界や海外で活躍されています。このＯＢの力を結集すべく、坪井事務局長（47経）、西藪副会長（46商）、宅原会計（43商）をはじめ、役員一丸となってがんばっています」と嬉しくも、心強い抱負。また、来年も元気に集い合えるのを楽しみにしています。

（広報部　中井紀子）

卒業後64年を経て前年超す8人の集い
―第一新生会

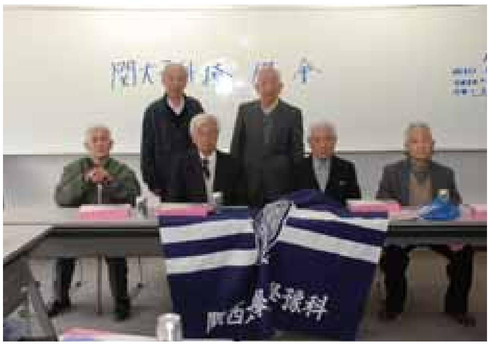
第2学舎2号館C206教室に、春の集いを呼びかけた。年毎に齢も重ね、気軽に開催して、旧交を温めようとの申し合わせに基づくもので、秋の集いに続くものが、今回の催しであった。

呼びかけの範囲は、前年度返信回答のあった30人を対象に発送した。幸い前回を遥かに上回る8人が参集し、交歓を深めた。

話題は、四方山話から始まり、卒業して64年を回顧しつつも、老年生の域に入り、健康と趣味、強いては大学の「慰霊碑」への合祀と飛躍した団欒のひとときを、有意義に過ごした。

（代表　篠原昭三）

予科の意気、年次総会に燃える
―予科撩爛会



年次総会を第2学舎C201教室で開催した。

昨年の総会では、多くの出席回答を得たものの、一挙にアクシデントが重なり、5人の参加にとどまった。

これに反して今年は、快調な出足で出席回答は13人となり、当日も全員が定刻に顔を揃えるといった、関心の高い集いとなった。

総会とあって、出席者を交え本部から寺内会長も同席をいただき記念撮影を行った。

総会での経過は、会長として東浦栄一君からの情熱の籠もった挨拶に始まり、現在の多角化した大学経営では凡そ考えられない意気と熱に燃えた、往時の弊衣破帽の「青春の像」に残された英姿に、蘇ってのひとときを過ごした。中には、他の会合との掛け持ち組も、他席を断っての居座りの打ち解けた集いに盛り上がりを見せた。

珍しく初参加の旧友も多く、話題は尽きる事なく、今後の運営に大きな礎を築く機会となった。

（木村史朗）

遠隔からも厭わず参集 名実ともに親睦の集い
―学部二七年会

第2学舎C205教室に16人が参集して開催した。

家族懇親会のタイトルの下、家族・友人の同伴と女子同窓の参加が定着した、異色の近親感の漂う集いとして開催。

出揃った同時点に寺内会長の訪問を受け、記念撮影となった。また上原相談役も、表敬の挨拶に駆けつけられた。

今年の集いは、定時総会を11月27日に開催して、余日もなく開催した経過もあってか、同席同士の話題も和やかそのもの。

中野副会長の挨拶は、会務としての諸報告で、会計には岩健次郎君の補選を紹介の後、会食に移り、発声は遠隔地揖保からの進藤敏孝君に願い、盃を挙げて別注の弁当に舌鼓を打ち、片山定君の南丹から出席をはじめ、全員の顔ぶれをオブザーバー藤本君に託し、ひとことスピーチを織り込んでの、会食に花が咲いた。

今回も女性のご支援で、弁当の片付けも素早く済ませ、和田祐吉君のリードで逍遥歌を合唱し、芝田精二副会長の閉会の宣言の後、畑下辰典会長の待つビッグホールへと移動した。

（中野英満）

今年卒業60周年 強い母校愛は健全
―二九千里会

100周年記念会館・紫紺で、11時から懇親会を開催した。

参加者は23人、突然母校を訪れ、久しぶりに参加された校友もあり、昔話に花を咲かせた。

今年は、卒業60年を迎え、知らぬ間に歳を取ったな？ 彼は

制御盤配電盤製作・計装、電気工事

共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳楽信義

本社 〒660-0815 尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号 電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172

東京営業所及工場 〒177-0033 東京都練馬区高野台2丁目6番16号 電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430

ホームページ http://www.kyouei-d.co.jp

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店

学・校章型薯蕷(上用)謹製

厚生大臣賞 日本食品衛生協会長賞 受賞

登録商標

和洋御菓子司

株式会社 呂月堂

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号

電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)

FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550

代表取締役 山本雅己(S53学1法卒)

生きているのかな、どうしている？　学生の時は賑やかな奴だったけど？　これがお互いに交わす言葉である。

来年もこの顔が見られるのか…、寂しい思いもする今日この頃である…、元気で居れよ、これが老卒業生、何時もの思いである。

ただ、母校を愛する気持ちは、老若を問わず齢をとっても忘れない。母校ほど良いものはない、つくづく感じる。（高橋一夫）

卒後初の母校訪問者も学歌・逍遥歌に感激！
―天秀会

昭和34年経商卒のグループ・天秀会は、卒業後55年喜寿を迎えたのを機に、スプリングフェスティバルに参加するため母校に集合。今回は夫人や家族を含め13人が参加した。

午前10時、経商学舎2号館C504教室に集まった面々は、お互いの顔を確認しあい、暫し講義の実感を思い出しながら、常に前方で真面目に受講した仲間同士が、よく学び、よく遊びながら無事卒業できたものだと感慨ひとしお。

11時、レストラン・チルコロに席を移し、一病息災に感謝しながら祝宴開始。美味しいフレンチに、当時の学食との雲泥の差に、時の流れを感じながら、アルコールを重ねた。

午後1時からの歓迎セレモニーに出席。女性の応援団長やチアガールにびっくり。卒業後初めて母校を訪問した輩は、久方ぶりに学歌と肩を組んで歌った逍遥歌に、感激の涙を流し、この機会に感謝しきりであった。

その後、大変貌したキャンパスを散策しつつ、国立大医学生の2人の孫たちの自校と比べた施設の充実さに、爺の誇りは保たれた。

在学当時の姿を留める唯一の建物、旧法文図書館（現博物館）に足を運び、往時の佇まいに触れ、館内の名品を観賞。

記念撮影の後、2年後の再会を約し、母校と朋に名残を惜しみつつ散会し、帰路についた。（花田正利）

古希・還暦の会員に今回からお祝い贈呈
―長砂ゼミ長友会

長砂ゼミ長友会（高井憲司会長）では、恩師長砂實名誉教授をお招きして例年通り100周年記念会館・サロン桃源で総会を開催し、定刻には参加予定の14人全員が顔を揃え、一年ぶりの再会に話が弾んだ。

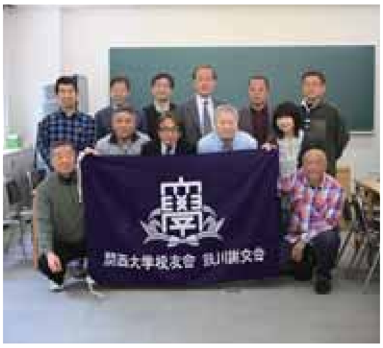
長砂先生による近況報告から会が始まり、会計・監査報告と議事が進み、今回から企画された古稀や還暦を迎えられた会員へのお祝品の贈呈が行われた。栄えある第1回目の贈呈者5人に記念品が贈られ、長砂先生からお祝いの言葉を頂戴したあと、各人から健康で長生きする秘訣や今後の目標などを披露していただいた。

乾杯後、近況報告を兼ねた本会の今後の活動についての会員同士の活発な意見交換のさなか、校友会の田中義昭副会長の突然のご訪問を受け会に花を添えていただいた。気が付けば既に予定の時間を超過しており、学歌斉唱、記念撮影も慌ただしく、来年の再会を固く約束しながら会場を後にした。（19期　吉村眞一）

発足10年超え深まる親睦 仙台の恩師との交流課題
―鉄川謝交会

鉄川謝交会は、今年も総会を開催した。総会では、浅田幹事長から昨年の活動報告及び今年の行事予定告知があり、4月の総会、7月の六甲山荘宿泊会、12月の忘年会と年3回の行事を今後も継続していく計画が承認された。

その後の懇親会は、いつも通りの和やかな雰囲気で歓談し、恒例のお楽しみ抽選会も大いに盛り上がった。



謝交会は、発足10年を超え、集まるごとに会員の親睦も深まり、仲間意識も高まっている。

しかし、仙台在住の鉄川先生がご高齢となり、大阪に足を運んでいただくことが難しくなり、今後どのような形で先生との交流を図るかが課題である。（幹事　松本憲子）

多くのOBOGが来訪 見習う一高への愛校心
―一高同窓会

一高同窓会のお餅つきに、初めて参加させていただいた。4月上旬にもかかわらず、とても寒い日でしたが、多くの一般の方が一高同窓会のブースに来て下さり、美味しそうに白玉粉入りぜんざいを食べておられました。

また、多くの一高OB・OG

の方がブースを訪ねて来られ、懐かしそうに話をしておられる姿を見て、一高への愛校心を見習わなければと思いました。

今回は、最年少の参加で少し不安に思っていましたが、つきたてのお餅にきな粉をまぶす作業等をしながら先輩方から貴重なお話を聞かせていただいたり、普段出会う事のない先輩方に優しく話しかけてもらったり、とても楽しむことができました。

来年は就職活動開始時期と重なるため、お手伝いは難しいかも知れませんが、是非また訪ねたいと思います。

（一高64期　高橋佑実）

80歳代から20歳代まで楽しい会話で満たされる

―機友会

スプリングフェスティバルに合わせて毎年、工学部・機友会の総会と懇親会が開催されている。今年も第4学舎の講師控室で午前11時から開催された。

工学部第1期生はじめ諸先生方、80歳代から昨年卒業された20歳代まで30人近くが集まった。2年ごとの総会と毎年開催している懇親会。今年も懇親会では、華やかな「お弁当」をつつきながら、皆さんとの楽しい会話で、ひと時は満たされていた。

昨年は、機友会創設55周年の記念講演会を成功裏に終えられたこと。今年の総会・懇親会に年齢幅広く楽しく集まれたこと。「益々の機友会発展」を約束しての懇親会になった。

（幹事長　長谷川洋司）

社学よっといデー開催　東村教授の講演を聞く

―社会学部同窓会

桜満開の千里山キャンパス第2学舎1号館A304教室に14人が集まり、「2014年社学よっといデー」が開催された。

講演では、顧問の社会学部東村高良教授による「明治期の私立大学の創立ブーム」を聞かせていただきました。

その後、凛風館に移動し昼食懇親会、歓迎セレモニーにも参加し、応援団等による華やかな演舞・演奏を見学し散会した。

（幹事　寺澤政和）

他支部校友も参加し60人超える大懇親会

―応援団OB長柄会
・司法書士関大会
・スポーツマンクラブ

恒例の応援団OB長柄会（Ⅱ部）（大谷啓二会長）と司法書士関大会（中村博会長）、スポーツマンクラブ（中井邦夫会長）による恒例の3部合同懇親会を、法文学舎の一教室で、小坂道一法人顧問・校友会参与による乾杯で開催した。

今年は、伊丹支部（加藤拓会長）をはじめ他支部の校友も加わり、チアリーディングサークル・CLAIRSによる演舞や歴代リーダーを交えての学歌や応援歌が披露されるなど、60人を超える参加で大変盛り上がった。

終了後も大学前の中華料理店で引き続き懇親…という最後の最後まで名残を惜しむものとなった。

来年も「ALL関大」の精神で多くの校友と交流したいと思います。みなさま是非お越しください。

（スポーツマンクラブ事務局長　小早川勝己）

天六学舎存続は難しい有効活用を考えよう！

―天六同友会

天六同友会は、本年もビールと弁当での会員の交流・懇親会とし、多数の参加者が交流を深めた。

久しぶりに顔を合わせた会員の挨拶は、体調・近況の報告から。なかでも、80歳超の高齢者と70歳未満の高齢者の年金額の格差問題や、不幸にして奥さんに先立たれた男の一人暮らしの苦労話に集中、日ごろからの準備の必要性を痛感した。

さらに、松永幹事長（関大評

窓を考える会社　YKK ap
YKK AP株式会社　ビル建材第一事業部　大阪支店
大阪府大阪市中央区谷町4-8-7　TEL.06-6947-4141
www.ykkap.co.jp

議員）から天六学舎の有効活用について、報告・問題提起。関大2部が1994年に千里山に移転してから20年、天六学舎の大学としての利用はほとんどなくなり、遊休資産となっている。同友会の会員は、ほとんどが天六学舎で学んでおり、天六学舎にことのほか思いをもっているが、有効活用を考えないと存続が難しい。大学に問題・提言できないかと意見を求められた。

参加者から大学の現状についての質問が続き、松永幹事長や石井顧問（法人の監事）から説明が行われ、午後1時の歓迎セレモニー時間に食い込み、引き続きの検討課題として懇親会を終了した。

（水上義博）

楽しい話の花が咲く バザーも好評で完売

―女子秀麗会

今年も女子秀麗会（仁井ひろみ会長）は、バザーとコーヒーショップ、結婚相談所相談コーナーを出店しました。

お天気が心配されましたが、幸いにも大きく崩れることはなく、時々強く吹く風で桜吹雪が、とても綺麗でした。

女子秀麗会恒例のコーヒーショップのコーヒーは「おいしい」と評判で、たくさんの校友が寄ってくださり、楽しいお話の花を咲かせてくださいました。幹事有志による手作りのハーブ石鹸などバザーも好評で、完売でした。

ご協力とご支援ありがとうございました。収益金は、女子秀麗会のこれからの活動に生かしていきたいと思います。

（幹事　遍照裕子　昭54文）

恒例の「春の集い」に 一期生高瀬氏が初参加

―秀麗寮士会

恒例となった「春の集い」は、参加者15人と少しさびしかったが、皆勤、遠来の方々に、奥様同伴の先輩も交え、千里山の満開の桜を満喫した。

初参加の一期生・高瀬和男さん（32法）の思い出話に始まり、各自が近況を報告。古希を過ぎてなお現役の先輩、仲間との海外旅行の話など、老いて益々盛んな報告に湧き、松花堂弁当にビールを飲みながら、ひとときを愉しく歓談した。

食後は、BIGホールでのセレモニーに参加し、チアガールや応援団の演舞を観覧。団長・副団長が女性と聞いて母校の変貌に驚きつつも、エンディングでは参加した校友全員で肩を組み、逍遥歌を高らかに歌い、往年を懐かしんだ。

来年は、もっと大勢に愉しんでもらおうと声を掛け合い、散会した。

（44法　市場康雄）

本格的ワインバル出店 来年も出してと激励も

―コールテクニカOB会

スプリングフェスティバルへの出店は、最初に「みたらし団子の店」を出してから、会員の皆さんも楽しみにしている企画となり、「ディズニーのポップコーン」「ワイン販売」等を実施してきたが、今回は本格的にワインバルを出した。

準備会を重ね、テントの前の国旗、店内のディスプレイ、ワインの合うパン、チーズ、ハムその他の食材、ホットプレート、コンロ、そして「ワインに合う」音源の用意…、店の名前は「ウィーンの森の物語」。その名の通りオーストリアワインを用意し、桜の下でお店オープン。

徐々にお客様が増え、店内で飲み始めると、美味しいワインにびっくりされ追加の連続…。ついに用意したボトルが底をついてしまった。校友と一緒に学歌・学生歌・愛唱歌を生演奏。本当に楽しいひと時を過ごし、「来年も出してよ…」と激励を頂きました。

その後、26年度総会を100周年会館・紫紺で開催し、遠くは西脇市から2時間以上をかけ2人の会員も参加。役員改選・新年度計画を討議し、新年度に向けて力強い出発をした。朝9時に始まり夕方4時、新年度も母校関大を噴き上げる事を確認し、お開きとなった。

（会長　武内博資）

広島や名古屋からも参集 名神高速上で逍遥歌斉唱

―雄弁会OB会

大学紛争時代の世代を中心とした雄弁会OB会も今年で7回目。12人が参加した。

今年は43年卒の川西さん、44

年卒の玉置さん、小西さんが初参加であった。遠くは広島、名古屋、津からの参加を得た。一人10分の弁論ならぬ近況報告では、取り組んでいる地域活動やボランティア活動、それに健康づくりが熱く語られた。
そのなかで3人が味な男の料理にはまっていたことも分かった。皆それぞれに退職後の人生を楽しみ、一人ひとりが目標と希望を持ち、熱い青春を取り戻している様子が浮き彫りにされた。
歓談後、恒例になった名神高速上の発声練習場所で逍遙歌を斉唱し、元気に来年も再会することを約束して散会した。

（石割信雄）

50連覇達成記念部旗贈呈 祝う会は歴代の自慢話も
―速記部OB会

50連覇達成を祝う千里丘の桜満開。速記部は、第104回全日本大学速記競技大会（全日）で優勝、50連覇（昭63・5～平25・10）を達成した。
達成を記念して、OB会は会員から寄付金を募り「50連覇達成記念部旗」を贈呈。総会で、前田聰会長の再任を採択、現役に恒例の援助金10万円授与。総会終了後に50連覇を祝う会を大学内のレストラン・チルコロにて開催した。
優しい時間がありました。19歳から78歳、OB会員と現役部員あわせて46人。卒業後40年ぶりのOB会員も数人いました。それぞれの時代の全日があり、OB会員たちの懐かしい、嬉しい自慢話に花が咲きました。
60代主将山本忠明君は、連覇継続をOB会員に力強く約束。

和やかな内にお開きとなりました。OB会員のみなさんは、同期揃って2次会に出かけました。

（事務局長　坪井恭一）

現役とマジックの交流
―奇術研究部OB会

さくら舞う中、OB会会合を開催した。
OBによるテーブルマジックのレクチャーがあり、「奇術の持つあたたかさ、夢と笑い」のもと、見ている人に「不思議」を楽しむ。不思議を楽しんでもらう気持ちが大切」と説明があった。
今年も現役諸君によるサロンマジックが披露され、OBによる演技指導があった。

（OB会会長　温井康之）

現役やOBOG共演の美しい調べに拍手喝采
―交響楽団OBOG会

桜満開の美しい千里山キャンパスを眺めながらの教室で、昭和24年の第1回定期演奏会に出演された80歳代の大先輩吉野・赤田・斉藤各氏から20歳代の松井氏までの30人の楽しい親睦会を開催できた。
前顧問の土倉先生もご参加いただき、親睦会が催され、年代ごとの音楽気質等、日頃聞けない話に花が咲く中、現役の弦楽五重奏と青木氏のオーボエ演奏、そしてOBOG共演によるアイネクライネの美しい調べに拍手喝采、誠に楽しい集いで、和やかな心の通うひとときでした。
時を超えたすばらしい集いになり、来年の再会を約束しました。

（会長　谷口眞人）

モンゴルのゲルの形が目印。
但東が誇る、つるつるすべすべの美人湯です。
シルク温泉やまびこ
兵庫県豊岡市但東町正法寺165
Tel　0796-54-0141
Fax　0796-54-0848
代表取締役　奥田　清喜
取締役　宮嶋　幸広（S53工卒）

あらゆる宿泊合宿に対応いたします。
・2面分使えるグラウンド
・全天候型スポーツ施設「シルクドーム」
・テニスコート4面
・体育館

海外支部だより

23人参集し第1回例会・新年会開く 年1回の総会は8月16日（土）に開催

台湾ＯＢ会（李銘坤会長）では、２０１４年第１回例会及び新年会を２月22日に台北市内の聚馥園餐廳で開いた。今回は、在学生と新入生各１人、また、初参加の黄武川氏、１年半ぶりに参加の谷岡氏などあわせて23人が参加した。

会の冒頭、まずは本年の行事予定と１月12日の南部懇親会について報告。そして第２回例会は４月19日（土）に、台中の江浙陸園会館で開くこと、さらに、年１回の総会は８月16日（土）に決定した。

早速に新年会へと移り、新年の乾杯をあげ、いつものように３時間を過ぎてもまだまだ飲み足りず、結局、半数以上の13人が二次会まで行くという楽しくも大いに盛り上がった今年最初の例会となった。

塩卓悟氏送別会を開催

第１回例会において、台湾の中央研究院近代史研究所に訪問学人として来られた塩卓悟氏が、３月19日に日本へ帰国すると聞き、急遽、送別会の開催を決定した。

送別会は、３月14日に台北で有名な上海料理「高記」復興店で開いた。急な決定だったが、それでも10人が駆けつけた。最後に塩氏から「台湾ＯＢ会は非常にフレンドリーな会ですね」と感激のことばを述べられ、以下のとおり感想を寄稿いただいた。

非常にフレンドリーな台湾ＯＢ会に参加して

私は、２０１２年７月から14年３月まで台湾の中央研究院近代史研究所に訪問学人として在籍した。

13年の11月に、私が台湾に来てから一方ならぬお世話になっている曽煥棋先生（静宜大学）より、当会への参加を勧められた。何やら高い敷居のような気がしつつも、折角の曽先生の勧めでもあり、一度だけ、とおそるおそる参加させていただくことにした。

13年12月22日に天星港式飲茶餐廳で開催された忘年会は、盛大であり、かつ初参加である私のような門外漢（?）をも温かく迎えてくれる非常にフレンドリ～な会であり、私は一挙に当会のことが好きになった。そのため、その席上、李銘坤会長から新年会への参加を勧められると、即答で参加する旨お伝えした。

14年２月22日に聚馥園餐廳で開催された新年会も、盛大かつアットホームな雰囲気で行われた。両会とも二次会のカラオケまで参加して非常に楽しく過ごしたが、さらに、３月14日には、李会長が送別会を開催して下さった。参加した会が忘年会・新年会・送別会というのは、非常に珍しいケースであると我ながら驚くとともに、私を温かく迎えていただき、送別会を開催し、ご参会いただいた李会長をはじめとする台湾関大ＯＢ会の皆さまに心より感謝申し上げます。

（塩　卓悟＝平５学２文・８Ｍ文・11Ｄ文）

足立会長らの送別会開催 宗岡教授の調査に協力も

ＪＫＴ千里会は、３月１日に、足立会長、松村氏の帰任にあたり、ゴルフコンペおよび送別会を開催した。

ＪＫＴ千里会の立ち上げから深く関わった両氏との別れは、寂しいものがあった。しかし、これまでのご尽力に感謝するとともに、今後の益々のご活躍を会員一同が祈念した。

両氏からは「ジャカルタ近郊には、まだまだ校友がいると思う。是非とも探し出して、今後もさらに千里会が拡大、発展し、他校に負けない一番目立つＯＢ会にならんことを祈ります」との力強い言葉があった。

また、３月５～９日の日程で、大学院会計研究科の宗岡徹教授の、東南アジアに進出する企業（工場等）の見学および現地調査においては、ＪＫＴ千里会も全面協力し、会員の勤務する企業や工場の見学はじめ、会員には、現地ビジネスや経済情勢の調査、情報収集から観光、懇親会に至るまでコーディネートいただいた。

（黒田和孝　yaping.office.id@gmail.com）

宗岡教授の調査に協力 15回会合で懇親深める

サイゴン千里会は、第15回目となる会合を３月４日に、支部旗が常時掲げられ〝聖地〟ともいえる「ドラゴンホットポット」にて９人参加のもと開催した。

今回は、大学院会計研究科の

宗岡徹教授による、東南アジアに進出する企業（工場等）の見学および現地調査において、サイゴン千里会会員が全面協力し、それに併せて宗岡教授を迎えての交流、親睦を深めるとともに、卒業生のベトナムでの活躍ぶりを見ていただくものであった。

いつもながら大変明るく楽しくも、ベトナムにおける経済情勢や企業風土、日本企業のベトナム進出等について語り合うなど、非常に充実した時間を共にした。

次回は3月21日に、会員の松下氏、山本氏の帰任にあたり送別会を兼ねて開催する。

(狩野浩二 k-karino@owell.co.jp)

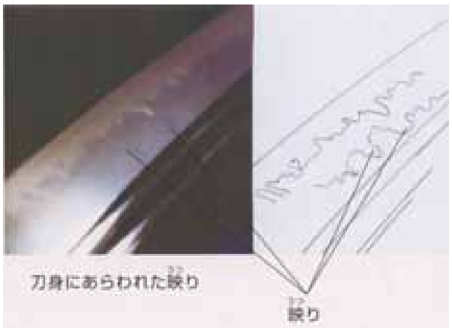
校友トピックス

刀匠・河内國平氏が「正宗賞」更に黄綬褒章受章で二重の喜び

この4月、(財) 日本美術刀剣保存協会主催の新作名刀展において、河内國平氏 (昭41学法) 出品の作品が今年の「正宗賞」に輝いた。

「正宗賞」とは、鎌倉時代中期に活躍し日本作刀史上最も著名である、作刀家「正宗」の名前を冠とした最高に権威ある賞である。

4月のある日の午後、河内氏から弾んだ声で「正宗賞を獲れたよ!」との第一声が届いた。何と太刀・刀の部では、この「正宗賞」受賞自体が18年ぶりという本当に難関での受賞であった。伺うと、河内氏の作品には「古刀の再現」が視えたとの評価であったという。「古刀」とは、室町時代後期頃までをいい、江戸時代以降には無くなってしまった「匂い」「映り(うつり)」が河内氏の作品には再現されていると、審査委員10人中9人から高い評価であったと訊く。



『佳兆』誌第66号より転載

この古刀にしかない地鉄 (じがね) の「映り」を、河内氏はどのようにして会得したのだろうか。それは、「刀」の原点に返るということであった。即ち「刀」は武器であるということである。凡そ260年続いた江戸時代から戦乱が無くなった。「刀」のあり様が、それ以前とは変わり、江戸時代以降から現在に至る作刀における、微妙に意識の変化があったと思われる。

しかし、河内氏は数年前から、敢えて鎌倉時代の質実剛健な気風を持つ「一文字 (いちもんじ)」を狙っているという言葉を何時も発せられていた。重ねて伺うと、これまで以上に自信をもって作刀して行くとの熱い思いが伝わってきた。日本の伝統美の「慥 (たしか) な伝承者」が、我々校友の仲間に居るという幸せを感じたい。

この取材中に更に嬉しいニュースが飛び込んできた。「黄綬褒章」受章である。奥さんに二重の喜びでしたねと伝えたが、河内さんご夫婦も言葉には出さなかったが、私も同様に、もう一つの目標を獲ってもらいたいと密かに長年希っている。もしその嬉しい日が来れば、再びこのコーナーでペンを執りたい。そんな思いに駆られている。

受賞作品　太刀長さ77・0cm　反り3・2cm　銘 (表) 河内守國助國平　無界 (刻印) (裏) 春暁　平成甲午年吉日製之

なお、受賞作品は東京・刀剣博物館 (渋谷区代々木4—25—10、電話03—3379—1386) に、6月10日から7月13日まで展示されている (無料)。　(副会長　田中義昭)

アイスホッケー部を北の大地より応援

昨年9月28日、北海道支部 (松本陽一支部長) 総会が、田中校友会副会長、楠見学長はじめ大学関係者多数の出席をいただき、開催された。

その中には、北海道釧路出身の元アイスホッケー日本代表の鈴木宣夫さんが、関西大学アイスホッケー部コーチとして出席されていることが紹介された。

関大が、フィギュアスケートに力を注いでいることは、皆さんご承知かと思いますが、アイスホッケーにも、とはご存じない方も多いのではないでしょうか。近いうちに、日本学生氷上競技選手権 (インカレ) の王者になること必定ですので、校友の皆さまご注視ください。

冬のスポーツを暖かい関西で懸命に取り組んでいることは、北の大地に住む我々支部一同としては、大いに歓迎している次第です。

この度、当地では一番大きい「北海道新聞」(4月16日夕刊) に鈴木氏ともども母校が取り上げられ、嬉しく拝見しましたので、報告させていただきます。　(広報担当　大坊健二)

北から南から〈各地支部だより〉

第３代支部長に畑修氏を選出
５同好会が活発な活動を報告

神奈川支部（重延義樹支部長）は、26年度総会「New Year Festa」を2月22日、雪の心配が去った好天の下、眼下に港を望み汽笛の聴こえる東天紅・横浜店で今年も開催した。

校友会副会長の北嶋弘一先生を始めとするご来賓を含め57人が参加。川崎美佐子副支部長の司会による第1部総会は、北嶋副会長が学校の近況を、散策の会、ゴルフ同好会、カラオケ同好会、山歩きの会、囲碁の会の各世話役が活発な活動の様子を報告。また、役員人事では、7年に亘り支部を率いた重延第2代支部長が勇退され、第3代支部長に畑修氏が満場一致で推された。

第2部の「私のものがたり」では、かくしゃくとした最長老、91歳の八木晟次氏が学徒動員で海軍に赴いた頃の話を披露。戦争の悲惨さ、命の大切さを語られた。第3部懇親会は、新開雅子副支部長の司会の下、美味しい中華料理を堪能し、PRコーナー、新人紹介、ビンゴゲームで盛り上がった。谷口正明最高顧問の中締めに続き、新支部長畑氏の就任を祝し、応援団OB久澤弘忠氏が迫力のエールを贈る一幕の後、相撲部OB大谷茂樹氏のリードによって全員輪になり逍遥歌を歌い閉会した。

（広報担当　田中潤一）

（ダイケイ気付＝050―1063―9660）

千本桜を心ゆくまで堪能
ほぼ満開、川面はピンク

神奈川支部（畑修支部長）では、4月6日に埼玉支部から田中千代子先輩（29文）の参加も含め総勢28人で、神奈川県大和市にある引地川で観桜散策を実施した。

当日は、前日夜半からの雨も早朝にはすっかりあがり、散策中は風もなく薄日も差す散策日和となった。

まずは「神奈川県花の名所百選」に選定されている花のお寺・常泉寺へ。境内にはミツマタや花桃・姫立金花など、春の花が所狭しと咲き乱れて目を楽しませてくれた。また同寺は「河童のお寺」としても有名で、色々な表情や愛らしい仕草の河童の置物には皆自然に顔が綻び、暫し童心に返った。

横浜は3月末に既に満開を迎えており、もう散ってしまっているのではとの心配も杞憂に終わり、散り始めてはいたがほぼ満開の樹も多く大満足の笑みがこぼれた。引地川に覆い被さるように垂れ下がった見事な枝振りや、散った花びらでピンク一色になった美しい川面を眺めつつ、桜吹雪の中を歩くという風情のある散策となった。

千本桜を心ゆくまで堪能した充実の一日となり、その余韻を胸に帰途についた。

（藤原ひで子・48法）

老若男女で賑やかな一時
熱い絆深めた新春総会

2月15日、前日の記録的大雪による交通網の乱れを撥ね退け、**東京支部**（堺精一支部長）新春総会が、パソナグループ本部ホールで開催された。

校友会本部、東京センター、東京経済人倶楽部、首都圏各支部から来賓を迎え、昭和27年から平成24年卒までの幅広い年代の52人が参集した。

第1部総会では、学歌斉唱、支部長挨拶に続き、田中義昭校友会副会長から来賓を代表して祝辞、「強い関西大学を支える元気な校友会」の活動と母校の近況を披露いただいた。続いて議事に移り、25年度の活動報告、会計報告と26年度の活動計画が承認された。今年は、若手情報交換会、バーベキュー、ゴルフコンペ、屋形船の会、工場見学など盛りだくさんの交流を深める企画が組まれており、中でも校友の要望からの新企画「東京からの大学訪問・スプリングフェスティバルツアー」に期待が寄せられた。

特別講演には、たこ焼「くくる」さつまいもの「らぽっぽ」等を全国に展開し、活躍中の永尾俊一氏（61法）をお招きし、在学中から現在に至る幅広い活躍と経営方針を熱くお話しいただいた。

第2部懇親会では、東郷校友会事務局長の乾杯挨拶で開宴し、料理とお酒と歓談を楽しんだ。支部役員の紹介、初参加者の紹介で相互理解を深め、老若男女の幅広い校友達が賑やかな時を過ごした。また、蓼沼彰さん（48M文）とプロ演奏家のコラボによるミニオペラライブで、華やかさを増した。

応援団OB田村怜嗣氏のリードで、逍遥歌と共に熱い絆を深め、柳田副支部長の挨拶で締められた。（堺精一）

（関西大学東京センター気付＝03―3211―1670）

岐阜で六代桂文枝独演会 壇上で支部旗と記念撮影

3月16日、岐阜県加茂郡富加町の「タウンホールとみか」で、「桂三枝改メ六代桂文枝独演会」が開催された。

岐阜県は、文枝師匠の父親の出身地で、昨年NHKで放映されたファミリーヒストリーのテレビ番組には、視聴した関大校友の多くも感涙にむせんだものだった。

その桂文枝先輩が、岐阜県の片田舎のホールにまで独演会に来てくれたということから、岐阜千里会（松村公夫会長）から、桑畑幹事と前畑幹事の2人が楽屋に激励訪問し、「結び文を桜の枝に付けた花束」と、地元特産の銘菓を持参した。

文枝師匠も母校の岐阜千里会の激励に感激し、ステージで岐阜支部の旗を持っての記念撮影となった。2時間半の独演会では、同じく関大出身の桂三語さんの落語もあり、岐阜千里会も大声援を送る中、大爆笑の落語会となった。

（前畑忠憲・55学経）

（松村工業・疋田＝0582―71―3912）

尽きぬ青春の思い出話 「ホテル白鳥」に36人

25年度島根県支部松江千里会（岸宏会長）が3月2日、松江市千鳥町のホテル白鳥に、本部から渡邊泰之副会長らを迎え36人の参加で開催された。

学歌斉唱で始まり、岸会長の挨拶に続いて渡邊副会長から大学の現況、130周年を迎えるにあたって、校友会としての支援体制の強化、また、今年度の受験者数の分析等々事細かに説明があった。

神庭副会長（42経）の乾杯の前に、岸会長の全国漁連協同組合連合会代表理事会長ご就任を祝し宴に入った。限られた時間ではあったが校友の親睦と懐かしい青春のつきぬ思い出話の中、桑原副会長（42経）の音頭で万歳三唱し、閉会した。

（幹事長　大西弘悦・46法）

（大西弘悦＝0852―23―1081）

関大から7人が出場 幟旗、ハッピで応援

第35回まつえレディースハーフマラソンが、3月16日に松江市で約2500人の参加で開催され、大会実行委員長に金山滉（42法）がその任に当たった。

1部に関西大学より7人エントリーしたが、その1部は歴代の日本を代表する高橋尚子、野口みずき、赤羽有紀子が過去に出場している権威ある大会で、校友会本部より送っていただいた幟旗、ハッピで応援した。

（幹事長　大西弘悦）

インドで関大支部設立？ 有志で中村会員の送別会

福岡千里会（白木成光会長）では、4月17日に福岡市博多区の八仙閣で有志による会合を開いた。会合名は「中村美里を送る会」。

会員の中村美里さん（平13学社）が、なんとインドのバンガロールを新たな活躍の場として選んでしまった。彼女の説明では、バンガロールはインド第二の都市で高層ビルが立ち並んだ大都会らしい。

血糖299が2カ月で94に！ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に！

糖尿病に燕子掌

ヘモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。

『お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がらなかったA1C値…。今回、やっと下げるモノが見つかりました！』と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。

▼この漢方・燕子掌の詳しい資料・改善データを無料でお送りいたします。

特許番号第2535674号

0120（090）358

ヘルスケア研究所

資料無料送付

燕子掌（えんししょう）

180粒　18,900円（税込）

糖尿110番　検索

良縁お世話致します

婚活（結婚活動）は、早ければ早いほど有利です！

関大生割引あり　一度お電話ください。

ブライダルナカノ　TEL 06-6702-8624

ホームページでも詳しく紹介しています。

ブライダルナカノ　検索

●関西大学卒業生（商87）中野友美子

MCSA　経済産業大臣認定個人情報保護団体　結婚相談業サポート協会会員

Bridal NAKANO

しかし、当日出席した誰もがその都市の名前も知らないくらい、インドは私たちとは縁が遠い土地だ。

「なんで、インドに行くの?」誰もが異口同音に尋ねる中、当人からは「面白そうだから」、「行ったことがないから」と明確ではないところが、彼女らしい。

中村さんといえば、昨年、福岡千里会90周年の事業の一つである東日本大震災被災学生に対する義援金集めとしてTシャツ作成の案を出し、チャリティーでの活躍も記憶に新しい。そんな、彼女が遠方へ行ってしまう―急な知らせに、声をかけて来れそうな人だけの小さな会合となったが、歓談の中、誰かが「インド支部を立ち上げて、会長になりーよ」という発言に、当人も「インドにも校友がいるかもしれませんね」と、前向きだった。

（白木成光）

（安藤造園土木・白木成光＝092－841－4141）

老舗・東華菜館で懇親会
昭和卒と平成卒が交流

京都支部（牧村史郎支部長）では、3月16日に中東ブロック&女性校友懇親会を京都での中華料理の老舗・東華菜館で催行した。

昨夏、担当幹事などの大幅異動があり遅れていたが、年度内に開催することができた。

今回は、昭和卒の方々と平成卒の方々の交流の場にしたい思いも込め開催した。

年度末でもあり、多忙な時期なので参加者はかなり低いのではないかと思われたが、従来と変わらず支部長・各副支部長はじめ初参加8人を含め総勢36人の参加があった。

牧村支部長の挨拶・今枝支部顧問の乾杯で始った。会場が老舗の店で、京都東山を一望できる部屋を用意して頂いた。支部長は、自分が結婚披露宴をした場所でもあるという思いで話や、今枝顧問の東山の見方の話等もあり、北京風中華料理と紹興酒などのアルコールも入り盛り上がった。初参加の若手の自己紹介時には、この様な楽しい会なら、もっと早くから参加すればとの言葉も出たのは、幹事冥利に尽きるものであった。

一ノ瀬副支部長の中締め、逍遙歌を小柳校友によるリードで全員肩を組み熱唱してお開きとした。

次回は元の秋季に戻し、さらに大勢の参加されるように願っている。（武田正洋・43機Ⅱ）

（壽見芳正＝0774－24－8008）

伏見区加えて初の開催
多彩な行事計画を案内

4月19日に醍醐の「とり清」で、**京都支部**南ブロックの懇親会が催された。

今回は、伏見区を南ブロックに加えての初の開催となり、好天のもと総勢20人の参加者があった。島現職委員が司会進行をし、牧村支部長の開会の辞、そして一ノ瀬組織委員会担当副支部長の乾杯で宴が始まった。

最初は、なかなか飲み物が来ずモタついた場面もあったが、すぐにいつものように和んだ雰囲気の進行となった。

盃がすすんで来ると、関大野球部への応援参加や次回グルメの会やカラオケ大会等の担当からの案内等々で盛り上がり、アッという間に時間が経ち、予定時間終了となった。

すっかりホロ酔い気分となり終宴後、店の前で集合記念写真を撮り、7月の支部総会での再会をお互いに誓い、散会となった。

（須山薫・51学社）

幹事長新設の役員改選で新体制が発足
支部長に三木氏、幹事長に武本氏選出

四條畷支部（櫻井孝雄支部長）では、3月22日に26年度総会を「くるまや」で開催した。渡邊校友会副会長はじめ、北河内地区支部代表を迎え総勢29人が集まった。

第1部総会では、学歌斉唱に続き櫻井支部長が挨拶で「今期で支部長を退任することになった。来賓、支部役員、校友の皆さまには、多大なるご支援を頂き心から感謝している。今後は、縁の下の力持ちとして引き続き支部の発展に寄与してまいります」と謝意を述べた。

渡邊副会長から「2016年の母校創立130周年記念事業として色々な計画を進めており、校友の皆さまの絶大なるご協力をお願いしたい。特に大阪をベースとした大学をアピールしたい」との挨拶があった。

議事では、25年度の活動報告、会計報告、監査報告が承認された。また、今年は役員改選期で、併せて幹事長職の新設に伴う会則の改定と新役員が推薦された。結果、支部長に三木宏（40経）、副支部長に山添定明（45工）、中西庄司郎（45文）、

瓜生照代（55文）、幹事長に武本正文（39工）が、それぞれ承認された。

三木新支部長は「幹事会をより活性化する事で地域全体の輪を広げたい」と抱負を述べた。

第2部の懇親会は乾杯の音頭で始まり、新執行部と校友会及び近隣支部代表の来賓と交流を深め、逍遥歌、万歳三唱でお開きとなった。

（幹事長　武本正文）

（武本正文＝072―877―7202）

観梅と官兵衛ゆかりの地 バスツアーに27人が参加

守口支部（平井治支部長）年3回の恒例行事としてすっかり定着したバスツアーは、3月1日、平井支部長や澤井良一・服部浩之両守口市議会議員をはじめ27人が参加して行われた。

今回は、31回目の日帰りツアーで、行き先は兵庫県たつの市御津町の綾部山梅林とテレビで放映中のNHK大河ドラマ「黒田官兵衛ゆかりの地」巡り。

まずは、ひと目2万本、海の見える梅林として有名な綾部山梅林へ。開花は二分から三分咲きで少し残念だったが、無料で振舞われていた甘酒はこくがあって大変おいしく好評だった。

そのあと姫路市内の料理店「花すすき」に向かい、天ぷらや刺身など板長の技が光る安くて充実の昼ランチをいただいた。さすが事業担当の川部政彦副支部長夫妻が下見をして見つけてきたお店だけに、みな大満足だった。

昼食後は、姫路城前に設けられた「ひめじの黒田官兵衛大河ドラマ館」へ。この頃から小雨がぽつぽつ落ちてきたが、ドラマ館前でまずは記念撮影して入場。館内は多くの観光客であふれ、テレビの大河効果に改めて感心させられた。

次に訪れたのが、姫路市広峰山の山上にある牛頭天王総本宮の廣峯神社。官兵衛の祖父がこの神社の社家たちと交流を深め、その縁から御着城主・小寺政職に仕えるようになり、官兵衛の父の代から御着城の出城であった姫路城主に任命されたという、黒田家とは極めてゆかりの深い神社である。本殿へは少し厳しい道のりだったが、高齢の参加者も元気に参拝することができた。

（副支部長　山本護）

（篠原勝＝06―6998―5115）

今久保元支部長が初優勝 ぽつぽつグラチャン大会

守口支部の第19回を数える麻雀大会は、2月5日に雀荘一二三で16人が参加して行われた。優勝は、この日の参加者の中で最長老の今久保喜司元支部長で、準優勝も2番目に高齢の杉本國雄副支部長が入った。

参加費は、貸卓料、食事代を含め1人3千円で、その残金と支部からの補助金で優勝・準優勝・3位と飛び賞、ブービーメーカー賞、ブービー賞の賞金に充てられた。歴史を重ね、ぽつぽつグランドチャンピオン大会をしては、という声も上がってきている。

（副支部長　山本護）

河内木綿テーマに総会 準備のための役員会で

4月5日、**八尾支部**（中尾達夫支部長）の活動拠点である八尾市市民活動支援ネットワークセンター（愛称・つどい）で、6月28日八尾市文化会館（プリズムホール）で開催の支部総会の準備役員会を開催した。

25年度決算・事業報告、26年度予算・事業計画など案文作成の確認を行った。広報について臨時会報や、昨年立ち上げた八尾支部フェイスブックを幅広く活用、支部校友に活動内容を周知するための予算編成に重点を置いた。事業部からは、企業施設等見学の予算の要請もあり組み入れた。

また、本年は支部結成55周年となるため、河内・八尾の伝統工芸である河内木綿をテーマにして、河内木綿研究家で、八尾に居住し関西大学に所縁の故辻合喜代太郎博士に関連した総会となるような企画をすることを確認した。

（支部長　中尾達夫）

（中尾達夫＝jn3wdy@kj9.so-net.ne.jp）

蜂須賀桜満開の母校夢に 支部再建20周年記念行事

3月8〜9日、関大130周年に向けての**住吉支部**（小林洋司支部長）行事の一つとして、昭和22年商学部卒の原田校友（92歳）所有『国・登録有形

文化財原田家住宅』に咲く、由緒正しい蜂須賀家より託された樹齢約250年の早咲き蜂須賀桜の母樹の花見に行ってきた。

この桜は、江戸時代徳島城御殿に植えられていた桜で、明治維新の初年、14代藩主蜂須賀茂韶が原田一平に、移植し守り育てるよう託したもので、花の色、樹皮や花粉の特徴から寒緋桜と日本固有の山桜系統の雑種と考えられ、蜂須賀桜と命名された。

一泊二日の大旅行。寺内校友会長夫妻をはじめ、田中大阪市内支部連合会長、その他各支部などから多数の校友に参加いただき、盛大な旅となった。

宿泊は、淡路支部渡辺校友が経営されてる渦潮温泉『若潮』。宴会の余興は、淡路支部校友のご厚意で、淡路だんじりと俵星玄番を楽しませて頂いた。

もちろんお花見と宴会だけではない。阿波十郎兵衛屋敷での人形浄瑠璃鑑賞と人形使いの講義・体験、大塚美術館では世界の巨匠の絵画を堪能。そして、学芸員さんの説明で作品から我々へのメッセージの解説に感動！

立川水仙峡では清々しいひと時。帰りには、原田校友よりお土産に蜂須賀桜の苗木を頂いた。

盛り沢山のメニューのせいか、車内宴会のせいか、帰りのバスではコックリコックリと心地よい世界に引き込まれた。ということで、母校に咲く蜂須賀桜の満開を夢見て、住吉支部再建記念行事の大イベントも無事ハッピーエンドとなった。

（広報　友成純子）

（小林洋司＝06—6673—9063）

19人が参加して新年会 校友オーナーの味に舌鼓

此花支部（平岡昭雄支部長）では、2月27日、JR西九条駅近くの「冨喜」で19人が出席して新年会を開催した。

平岡支部長の挨拶に始まり、学歌斉唱、大島徹相談役の乾杯で懇親会が始まった。「冨喜」オーナー梅田卓司氏も校友であり、新年会に力と心のこもった料理を振舞っていただき、出席

■支部の地域連携事業報告■

芦屋さくらまつりに参加 校友の繋がりを実感

4月5〜6日の2日間にわたって、第26回芦屋さくらまつりが開催された。芦屋川沿いにはステージが設けられ、終日、吹奏楽やワールドミュージックの演奏を聴きながら、お花見を楽しむことができるイベント。

昨年は荒天により当日の朝に中止が発表されるという残念な結果となったが、今年は満開の桜の下、たくさんの市民で賑わった。**芦屋支部**（直林法廣支部長）では今年はインドカレーやジュース・ワイン等の販売を行った。

お天気が不安定な場面もしばしばだったが、老若男女、国籍問わず大勢の方が訪れ、大盛況のうちに幕を閉じた。「関西大学」の文字が入ったのぼりを見て、声を掛けてくださる卒業生の方が何人もいらっしゃって、改めて関大校友の繋がりの広さを実感した。

このイベントをはじめ、校友そして地域の方々と交流できる様々な場で、今後とも支部活動をさらに盛り上げていきたいと思います。

（石川彩・平23社）

（依藤健史＝0797—23—7004）

会のPRと団結力強化 初の文化講演会開催で

3月23日に大阪市福島区の区民センターで、文化会OB会**葦文会**（渡部基義会長）主催の文化講演会が開催され、校友や市民ら約300人の来場者があった。

文化講演会は、2部構成で行われ、第1部は、文化会の現役学生によるアトラクション。混声合唱団「ひびき」、交響楽団、吟詩部による演奏等が行われた。現役学生にとっては、300人もの観客の前で日頃の成果が発表でき、いい経験になったのではないかと思う。

第2部は、中国評論家である石平氏による講演で、テーマは「中国経済と今後の行方」。中国の経済成長は、中国政府による大規模な財政出動と金融緩和によって牽引されてきた。その結果、賃金上昇による国際競争力の低下、不動産バブルを生み出し、近い将来、不動産バブルが崩壊し、中国経済は破局を迎える可能性があるのではないかといった内容だった。

今回初めて、文化講演会を開催したが、現役学生の発表の場の提供、社会連携、関西大学や文化会、葦文会のPR、組織の団結力を強めた素晴らしいものであった。今後もこうした事業を続けていきたいと思う。

（幹事長　三坂友章）

（三電社内＝06—6452—2210）

者はその味に舌鼓を打った。
　歓談中は、近況報告などを思い思いに述べ、終始盛り上がりを見せた。逍遥歌を合唱し、吉井正相談役の挨拶で閉会となった。その後は2次会へ足を向けた。

（幹事長　山口升啓）
（山口土建・山口升啓＝06－6461－1049）

「みちの歴史」につき 南畑幹事長スピーチ

　3月20日、イオンモール鶴見4階のEXブルーで今年度最後（第6回）の**鶴見支部**（迫匡支部長）定例交流会を開いた。
　迫支部長（40商）から、2月に行われた大阪市内支部連合会総会、4月のスプリングフェスティバルでの「つるみde遊ぼうよ」、6月28日鶴見、都島支部合同総会を天満橋錦城閣で行う事、5月26日の校友会本部主催の第30回親睦ゴルフ大会（天野山CC）などの行事連絡があった。

　その後、恒例となったマイスピーチは、今回は私こと南畑（47工）による「みちの歴史について」だった。
　狩猟をしていた原始人から、飛鳥・大和時代の天皇、豪族との交流、物資等の運搬のため道が整備されはじめた。江戸時代に入り、戦がなく平和な時代になると、一般旅行者や諸大名の参勤交代のために、五街道などが日本全国で整備された。
　また、明治に入り五街道を含め主要な街道は国道に指定された。等々、暮らしに身近なみちのお話をさせていただいた。

（幹事長　南畑吉是）
（迫　匡＝090－5017－8420）

校友会組織登録後初の例会開く 例会出席可能な近畿48社が会員

年輪関大会（朝倉満会長）の26年2月度（第10回）例会を、2月27日にホテルニューオータニTAIKAN－ENで、来賓に寺内校友会長、東郷事務局長、田中校友会連携プロデューサー、松井産学連携コーディネーター、一軸校友会前会長を迎え開催した。
　今回は、校友会への組織登録認証後初めての例会であり、改めて会則等の説明をした。
　年輪関大会は、大阪中小企業投資育成（株）の会員で、例会に出席できる近畿圏の企業の役員が中心になって構成された会で、現在会員数は48社（内上場企業1社）で、法人の寄付行為が進行中の企業が1社、産学連携が進行中の企業が5社である。

　今後は、投資育成に拘らず幅広く優良企業の入会を募って行く予定である。

（朝倉　満）
（アサクラ気付＝06－6354－8900）

浅田真央のコーチ 佐藤信夫氏が講演

　6月16日（月）午後6時から大阪新阪急ホテルで開催される**経済人クラブ**（栗原照次郎会長）第202回例会で、浅田真央のコーチで校友の佐藤信夫氏（35高1・39学経）が講演する。
　テーマは「浅田真央と共にソチ冬季オリンピックを戦って～フィギュアスケート暦60年を振り返りながら～」。直近のソチ五輪、2014世界フィギュアスケート選手権に限らず、興味あるお話しを伺えるものと思われ、同クラブでは多くの人に聞いていただきたいと、今回に限り会員の同伴ということで一般の参加申し込みを受け付けることになった。
　会費は、講演会後の懇親会も含め1万円。ただし、席数に限りがあるため、申込順受付で、定員になり次第締め切る。
　連絡は、校友会事務局・担当まで（電話06－6368－0041）。

総会に3百数十人出席 表彰式・懇親会も開催

　3月9日、千里山キャンパス・100周年記念会館で25年度**体育OB・OG会**（女川隆会長）総会が開催された。
　第1部の総会では、近藤副会長の開会の辞で始まり、女川会長が議長となり議案審議が行われ、全ての議案が承認された。
　第2部のOB・OG・監督・コーチ表彰に移り、OB貢献賞25人、監督コーチ3人に特別表彰が行われた。また、永年体育OB・OG会に大変尽力いただいた黒津忠夫氏に、特別功労賞が授与された。
　第3部懇親会は、来賓として法人、教学の役員、校友会、友好大学である関西学院・同志社・立命館のスポーツ関係OB、友好団体のスポーツマンク

ラブ、応援団OB・OG千成会（I部）、応援団OB長柄会（II部）から出席をいただいた。

女川会長の開会挨拶、来賓を代表して池内理事長、楠見学長、寺内校友会長、渡辺関西学院体育会同窓倶楽部会長よりご挨拶をいただき、黒田副学長の乾杯のご発声で懇親会が始まった。

3百数十人に出席していただき、終始和やかな中、時間も押し迫り、応援団第92代府上副団長の指揮のもとで逍遙歌に移り、佐藤副会長の閉会の辞で幕を閉じた。（西田幸弘）

（西田幸弘＝06―6672―2596）

盛大に復活30周年祝賀 上原相談役が記念講演

大正時代に岩崎卯一先生が、米国コロンビア大学へ、海外留学の一期生として派遣され帰国。母校関大で教鞭を執られた。

その門下生が「**政治学会**」（現・吉田之計会長）を創設。多くの人材を世に送った。

昭和60年2月に「清交社」で復活第1回総会を開催して以来、綿々と継続されて30年の節目を祝う記念総会が開催された。

3月15日、肥後橋「徐園」集う者45人となった。記念講演は母校から上原相談役に「大学運営の諸問題」に関して解説をいただく。また本部からは北嶋副会長らにお越しいただいた。会場設営も、大幅に拡大しての祝宴となった。

集う校友の顔触れは、新制学部第一期生から、各年代に学友会・各クラブの首脳として活躍のメンバーが一堂に会した。（藤本道人）

年2回集い設立30周年 2人の叙勲が花を添える

校友会神戸倶楽部を神戸支部への呼称変更を期に、集まった有志により同期会結成の話が持ち上がり、先輩方の協力を得て**神戸三九会**を結成。

以降、毎年3月9日と9月3日に総会と定例会を開催。会員は39人の限定、93歳にての解散と拘りを持って現在に至っている。

昨年秋の叙勲で会員の山下皓二君が瑞宝単光章、畑喜春君が瑞宝小綬章を叙勲、記念の会に花を添えてくれた。

まだまだ元気で、自営業に頑張る者、悠々自適で旅行や家庭菜園を楽しむ者、地区のボランティアや福祉活動に頑張る者と、それぞれが余暇を満喫している仲間たちが、年2回集まってストレスを発散、さて何時まで集まれるでしょう。93歳まで頑張るぞ…。（事務局　石山康弘）

2年ぶり5回目の懇親会 今だから言える話飛出す

心理学教育学研究部の第5回懇親会が、2年ぶりに4月19日に100周年記念会館・レストラン紫紺で開催され、OB・OG29人、現役部員1人の30人が出席した。

OB・OGは、晴耕雨読の悠々自適生活者、六甲山森林ボランテイア、青少年育成ボランテイア、大阪市大大学院で学ぶ人、企業経営に励む人、定年後の再雇用で頑張る人、現役で頑張る人等々、昭和33年卒から平成26年卒までの多士済々の顔ぶれであった。

そして、恒例の自己紹介では、今だから言える学生時代のエピソードや失敗談等もポンポン飛び出して、旧交を温めた。今回、初めて参加の方もおられたが、心理研の同窓生という連帯意識のおかげで、どのOB・OGも打ち解けて終始和やかに歓談をされていた。

現役部員からは、心理研の現況報告や研究活動の説明があり、その一助として、OB・OGから、心ばかりの現役生への研究補助金を贈呈した。

2時間ほどの懇親会もあっという間に過ぎて、次回の再会を約束し、最後に、学歌、逍遙歌を参加者全員で、高吟して閉会した。（幹事　大下正一・51法）

40年前の劇を再演 熱演に大いなる拍手

2月22日、我らが**児童文化研究会**、大学正門横・チルコロで恒例の同窓の集いを持った。本年の参加者は、昭45～昭52卒の同窓31人だった。

本年の注目は、昭51卒組の演じる児童劇「森は生きている」。当時、吹田の子どもたちに披露したミュージカルを朗読劇として再演し、その熱演ぶりに同窓の大いなる拍手を得た。

また、現役生紙芝居サークルの招待上演もあり、後輩激励の集いにもなった。

大いに語り、大いに笑い有意義な時間を持つことができた。

最後は円陣を組み逍遥歌で歌い舞い絆を深め、来年の再会を楽しみに会の幕を閉じた。

（西山啓司・昭51商）

（西山啓司＝０９０―９９９８―０１５１）

2代〜62代まで集う 新会長に谷澤弘喜氏

文化会吟詩部ＯＢ会は４月12日、中国料理大成閣で26年度総会を開催した。

この総会には、第２代の先輩から総会前日に入部した現役学生（第62代）までのＯＢ・ＯＧ、現役62人が参集した。

総会では、事業報告・決算報告が承認された後、役員改選案が示され、新会長に谷澤弘喜氏（第14代・44年卒）が選任された。

懇親会では、年次別歌謡、ビンゴゲーム等で大いに盛り上がった。今年は、現時点で新入部員４人が入部し、約10年ぶりに部員数が10人に達した。

その中の一人は、今年２月に校友会芦屋支部の総会に吟詩部の現役学生が招かれた時に知り合った、中国からの留学生である。

最後に大平正夫氏（第14代）、福原聡氏（第51代）のダブルリーダーのもと全員で肩を組み逍遥歌を合唱した。

（葦文会幹事長　三坂友章）

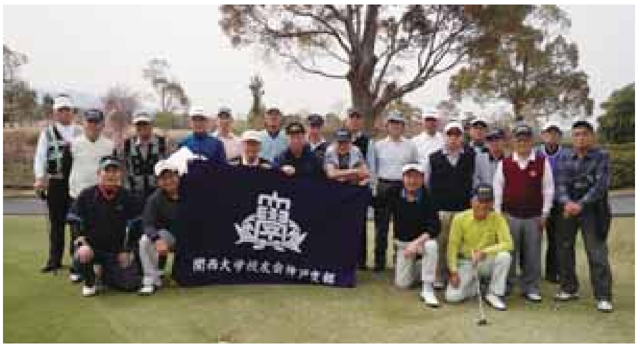
ゴルフだより

各賞に豪華高級食材 優勝は佐和美徳幹事

神戸支部（齋藤富雄支部長）の親睦ゴルフ大会が、４月16日に三木市の名門、オリムピックゴルフ倶楽部で開催され、初参加の桑村譲氏（37法）、藤原進氏（42法）の２人を迎え、総勢23人が集まった。好天に恵まれて初夏を思わせる陽気の中、親睦を深め、またいつもながら珍プレー、好プレーが続出し、和気あいあいのうちにホールアウトした。

当ゴルフ倶楽部自慢の天然温泉で、戦い抜いた身体を癒した後、藤本輝明幹事（52社）の司会で会に入った。校友会副会長である渡邊泰之副支部長（昭42法）が大学の近況挨拶を述べた後、表彰式に移り、佐和美徳氏（昭44商）が優勝の栄冠を手にした。

２位に丸山清司氏（49工・建築）、３位に三村元庸氏（40法）、またベスグロに原田宏氏（42法）と続き、各賞に高級食材等の豪華賞品が贈られて会場は大きな拍手に包まれる中、秋大会での再会を約束して懇親会を締めた。



次回は、11月18日（火）に三木セブンハンドレッド倶楽部で企画している。初心者からベテランまで、支部校友の参加をお待ちしています。詳しい広報はホームページ、フェイスブックで「関西大学校友会　神戸支部」を検索願います。

なお、総会・懇親会は、６月20日（金）午後６時30分から生田神社会館で開催します。

（幹事　藤本輝明・昭52社）

（神戸支部メール　kandaikobe@gmail.com　ＦＡＸ０７８―４５３―２１７１）

岩﨑東大阪支部長が優勝 エージシュートの快挙

恒例の河内地区支部対抗親睦ゴルフ大会（幹事役・富田林支

平成25年度 1級建築士 設計製図試験

全国 No.1 合格者占有率

37都道府県での開講にもかかわらず全国の合格者のおよそ6割が当学院現役受講生!

合格者占有率 55.8%

他講習利用者+独学者 / 当学院現役受講生

全国合格者4,014名中、当学院現役受講生2,238名

関西大学 平成25年度 1級建築士合格者

卒業合格者45名中、31名が当学院の講座を利用して合格されました!

当学院利用率 68.9%

※卒業学校別合格者数は、試験元である（公財）建築技術教育普及センターの発表によるものです。＜平成25年12月19日現在＞

平成25年度 2級建築士 設計製図試験

当学院教室開講都道府県ストレート合格者のおよそ2人に1人は当学院の現役受講生!!

当学院教室開講都道府県 学科・製図ストレート合格者 占有率 45.4%

当学院教室開講都道府県ストレート合格者2,999名中／1,363名

＜平成25年12月5日現在＞

平成25年度 宅建 本試験

当学院基準達成 現役受講生 合格率 82.9%

8割出席・8割宿題提出・公開統一模試得点率8割以上現役受講生252名中、合格者209名

＜平成25年12月4日現在＞

1級建築施工管理技術検定

【平成25年度 学科試験】 当学院基準達成 現役受講生 合格率 95.2%

8割出席・8割宿題提出現役受講生230名中、合格者219名

＜平成25年7月19日現在＞

【平成24年度 実地試験】 当学院現役受講生 合格者数 956名

＜平成25年2月7日 現在＞

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

開講講座 無料体験入学実施中! お気軽に下記最寄校まで!

1級・2級 建築士 / 構造設計1級建築士 / 1級・2級 建築施工管理技士 / 宅地建物取引主任者 / 1級・2級 土木施工管理技士 / インテリアコーディネーター

株式会社 総合資格

(一社)日本経済団体連合会会員 / (一社)日本建築学会会員 / (一社)全国産業人能力開発団体連合会会員

監理技術者講習実施機関 登録番号7 / 宅建登録講習機関 登録番号 第009号 / 宅建登録実務講習実施機関 登録番号 第5号

株式会社 総合資格学院 法定講習センター

国土交通大臣登録講習機関 一級建築士定期講習 登録番号 第5号 / 二級建築士定期講習 登録番号 第4号 / 管理建築士講習 登録番号 第2号

経済産業大臣指定講習機関 第一種電気工事士定期講習 登録番号 第4号

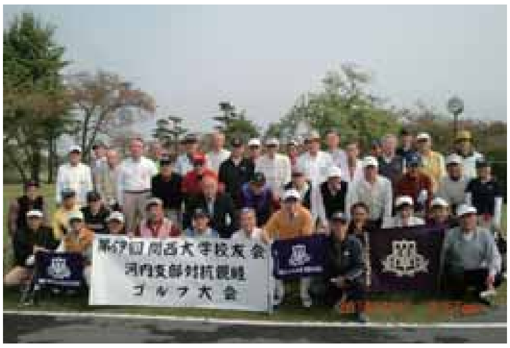
総合資格学院

梅田校 TEL.06-4709-8111 / 神戸校 TEL.078-241-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911 / 姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211 / 京都校 TEL.075-253-0481
なんば校 TEL.06-6648-5511 / 草津校 TEL.077-566-6911
堺校 TEL.072-222-9311 / 奈良校 TEL.0742-30-1511

今すぐウェブ検索 総合資格 検索 www.shikaku.co.jp

ケータイサイトも充実 http://gakuin.jp/ ※QRコードはバーコードリーダー対応機種に限ります。

学院長 岸 隆司（法48卒）



部）が、4月17日に聖丘カントリー倶楽部で、6支部14組54人が参加して開催された。

天候にも恵まれ満開の八重桜の中を、東コースと中コースに分かれ各7組でスタート。

この大会は、今回が59回目という長い歴史をもち、近隣支部間の親睦、交流をモットーとしているだけに一日、和やかに校友がゴルフを楽しんだ。

結果は、団体優勝が東大阪支部、2位が富田林支部。個人の部は、優勝が東大阪支部長の岩崎英夫氏でGR76（NET70）のベスグロ。さらに氏は当年76歳。所謂エージシュートの快挙であり、誠にめでたい大会でもあった。準優勝は、松原支部の石田伸行氏（GR76、NET72）、3位も松原支部の山下友一氏だった。

熱戦後の表彰式では、冒頭、幹事支部の杉多弘至支部長の挨拶の中に「本日の快挙！」として岩崎氏のエージシュートが発表され、一堂が驚きと拍手で祝福する場面もあった。

岩崎氏は「一度は、やりたかったエージシュート。今日、思いが叶って本当に嬉しい。もっと長いコースでやれたら…」と、笑顔ながらも緊張の表情でのスピーチ。来年は喜寿、ますますのご健勝を。おめでとうございました。

次回は、今秋、東大阪支部のお世話で第60回大会を開催することを約し散会。

（富田林支部　筒井孝一）

支部間の交流親睦も 田中道生氏が初優勝

富田林支部（杉多弘至支部長）では、4月17日、聖丘カントリー倶楽部で行われた「河内地区支部対抗親睦ゴルフ大会」と併せて第8回親睦ゴルフ大会を開催し、19人が参加した。

いつもの大会と違って、はじめて近隣支部の校友と一緒にプレーする会員も多く、コース内では大学時代の話題や地域の情報交換などの光景も見られ、支部間の交流・親睦がはかられた和やかなコンペだった。

成績順位は、河内支部対抗戦に準じて行われ、その結果、田中道生氏（39文）が、普段よりもスコアは伸びなかったものの見事、初優勝。「余り調子はよくなかったが、同伴メンバーやH・Cにも恵まれて楽しいゴルフで、しかも優勝とは嬉しい限り」と笑顔で杉多支部長から優勝杯を手にした。

準優勝は、実力派でいつも上位の沖利男氏（49商）、3位は、松井靖氏（60社）だった。

現在、当支部ゴルフ部のメンバーは29人。次回（第9回）の開催は10月頃の予定。

（幹事　筒井孝一）

（野島努＝0721―23―3190）

梅田晴男氏が優勝飾る 2位杉谷、3位石川氏

4月20日、オレンジシガCCで**大阪中央支部**（伊藤晃充支部長）春季ゴルフコンペを開催した。少し肌寒く絶好のゴルフ日和とはいかなかったが、校友16人が名プレー、珍プレーを繰り広げた。

表彰式では、ドラコン・ニアピン等、全員に賞があり、和気あいあいの雰囲気の中、手渡された。優勝は梅田晴男、2位杉谷好広、3位石川雅一の各氏。またベスグロは杉谷氏であった。

次回の秋季コンペには、他支部の方も含め奮ってのご参加をお待ちしております。

（広報副部長　杉谷好広）

（伊藤晃充＝0743―71―2285）

花屋敷で春季コンペ 春本番のぽかぽか陽気

第49回二九千里会（大村計治会長）コンペは3月17日、花屋敷ゴルフ倶楽部（よかわコース）で開催された。

当日は、春本番のぽかぽか陽気に恵まれ、傘寿を超える高齢ながら全員元気にプレイを楽しんだ。

成績は、優勝をベストグロスと82のエージシュートを達成した大津淳（経）、準優勝を徳岡英一郎（家）が獲得した。

次回は、11月12日（水）実施の予定。

（日高由雄）

（高橋一夫＝0797―86―8618）

お母さまへ
主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。
高槻の隣り町
島本町
TEL.075-961-7405
吉川　味与子
（関西大学卒業生の妻）

「くらしと水」の接点を支えています
暮らしになくてはならない水――
タブチは、安全で快適な
給水用具の創造で
人々の暮らしを支えています
TBC TABUCHI
ホームページは タブチ 検索
給水用具の設計・開発・製造
株式会社タブチ
〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号
TEL 06-6708-0150（代） FAX 06-6708-0210

寒い中での熱い戦い
優勝は寉岡相弘先輩

3月15日、スポーツマンクラブ（＝Ⅱ部体育OB会・中井邦夫会長）ゴルフコンペが11人参加のもと猪名川グリーンカントリークラブで開催された。

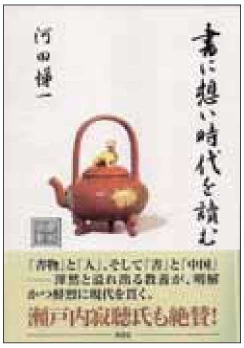
当日は、三寒四温を繰り返す中の寒い日だったが、グリーン上の戦いは熱いものだった。

優勝は寉岡相弘先輩（50・自動車部）、準優勝は梶本雅憲先輩（52・柔道部）、3位は橋本弘士先輩（33・空手道部）。因みに、ブービーメーカーはハンディに恵まれずN会長だった。

今後も、できるだけ若手OBが参加しやすいように、休日に開催します。次回は秋に開催予定。多くのご参加をお待ちしています。（事務局長　小早川勝己）

（関西舶用＝06―6572―1021）

河田悌一（前学長）著
『書に想い時代を讀む』
定価1890円（税込）　東信堂刊



著者は中国思想史の専門家。前・関西大学長で、現在は日本私立学校振興・共済事業団の理事長を務めている。大学のあり方を考え、中国との縁を振り返り、これまでに会った人々の面影をつづる。読んでいて、ふと人生に思いをはせてしまうような、滋味深いエッセー集だ。

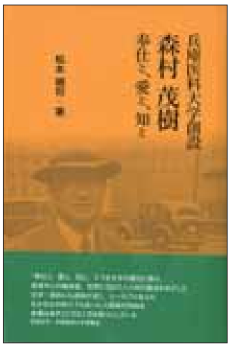
たとえば、司馬遼太郎の手紙について。感想が「独特の温かな字体」で記されていた。会っても必ず、励ましてくれ、こちらがイマイチだと思う文章でも、よいところをほめて、鼓舞してくれた。司馬の「褒め上手」は著者の教育観にも影響し、自分も学生に接する時、先に称賛してから課題を指摘するという。網干善教の追悼文では、考古学を「茶の間の学問」にされたとたたえ、高松塚古墳の壁画が劣化した時の激しい憤りにも触れている。

書道についての文章や、中国を訪れての感想も味わいがある。北京の変化に驚き、中国における儒教の再評価の背景に何があるのかを論じる。

現在、関西大学と大阪市や大阪文学振興会が主催する織田作之助賞の選考委員を務めている。その選評も収録されていて、関西大学出身の西加奈子や津村記久子の小説に共感している。

（毎日新聞論説委員　重里徹也）
＝2月23日毎日新聞朝刊12面「書評欄」より転載

松本順司（昭45学2経）著
『兵庫医科大学創設　森村茂樹　奉仕と、愛と、知と』
神戸新聞総合出版センター刊
定価2000円＋税



兵庫医科大学を創設した森村茂樹の伝記が初めて出版された。

「奉仕と、愛と、知と」3つを大学の礎石に掲げ、患者中心の医師、世界に羽ばたく人材の養成を目指した。文学、美術にも造詣が深く、ユーモアにあふれなかなかの粋人であった人間森村茂樹を浮き彫りにしている。

森村は1916年（大正5）尼崎生まれ、神戸一中から第

校友短信

◇まんのう町長に栗田隆義氏が無投票で3選　任期満了に伴う香川県仲多度郡まんのう町長選挙が4月8日告示され、3選を目指す栗田氏（無所属）のほかに立候補の届け出がなく、無投票当選が決まった。

栗田隆義氏（くりた・たかよし＝昭51学工）は、旧満濃町議を経て、平成3年4月から県議を4期。平成18年合併に伴うまんのう町長選に初当選し、現在2期目。60歳。

◇三観広域行政組合消防本部消防長に三木通陳氏が就任　4月1日付。三木通陳氏（みき・みちのぶ＝昭53学法）は、三豊市総務課長などを経て、平成24年から消防次長兼総務課長。59歳。

◇ドウシシャ社長に野村正幸氏が就任　4月1日付。野村正幸氏（のむら・まさゆき＝平8学商）は、平成10年1月同社入社。16年6月取締役。23年4月代表取締役兼副社長執行役員。41歳。

ライフデザインの時代へ
家具卸
株式会社 大谷賢三商店
〒579-8063 東大阪市横小路町5丁目5番5号 Tel.（0729）82-3311（代） Fax.（0729）84-4350

三高校、東京大学医学部で精神科を学ぶ。研究生活に入りたかったが、陸軍に軍医として召集されインドネシア・ジャワ島へ。戦後捕虜として抑留されるなど6年近く軍隊生活を送った。

　精神科から始まって地域医療、福祉、そして医科大学創設へとコマを進めた。認可申請を行ったが、文部省から"待った"がかかった。父が残した病院など全財産をつぎ込み、裸同然だった。"死にたい"と弱音を吐くこともあった。この最大のピンチを不屈の精神と友人らのサポートで乗り切り、1972年（昭和47）西宮の武庫川河畔に医科大学を開学した。

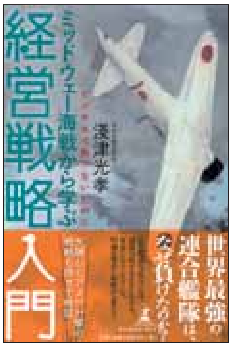
　学生を愛した。大学祭や学生集会には、少し猫背な後姿があった。国際学術交流の1つとして、ドイツ・ザールランド大学医学部との姉妹提携を実現するために渡独したが…。

（編集子）

浅津光孝（昭54法）著

『ビジネスで負けないために ミッドウェー海戦から学ぶ 経営戦略入門』

幻冬舎ルネッサンス刊
定価1500円＋税



　中小企業診断士として活躍している交響楽団の同期が、本を出版した。世界最強と言われた連合艦隊はなぜ敗れたのか？　太平洋戦争のターニングポイントとなったミッドウェー海戦をに見立て、この戦いの勝敗のメカニズムを「戦略」「マーケティング」「組織」など、経営の視点から解明したユニークな著書である。

　第1部では、海軍内部の対立の末に折衷案として成立した矛盾をはらんだミッドウェー作戦が、アメリカ側の暗号解読に基づく巧妙な戦略に翻弄され、自ら崩壊していく流れを戦いのストーリーとして時系列に紹介している。

　第2部では、まず、①ロジカルシンキングによる連合艦隊の問題点の構造化を行い、その上で、②日本側が一挙に空母を3隻失うまでの展開を、日米双方のとった戦略を経営の視点から様々なフレームワーク（SWOT、バリューチェーンなど）に再現し、可視化することにより比較検討を行っている。

　さらに、③唯一、生き残った空母「飛龍」の奮戦を、今度は組織面から「官僚制の呪縛からの解放」という観点により組織改革を切り口として論証している。

　この戦いの背景には、先に相手を見つけて攻撃すれば勝負は一瞬の内に決まるという、空母対決特有の非情さとスピードがある。これは生き残りをかけて常に環境変化のスピードに対応していかねばならない現代のビジネスに通じるものがある。

　戦史好きのビジネスマンにとっては楽しみながら経営戦略を学べる1冊で2度おいしい本である。

　なお、この著作をもとにした出張セミナーも希望に応じて開催しているとのことである。

（太田利次　昭54工・交響楽団OB）

お悔み申し上げます

大嶋不二男氏（おおしま・ふじお＝昭16大予2・18大経）平成25年4月18日死去。91歳。神戸市。

森本俊一氏（もりもと・としかず＝昭25高2普・29学2法）7月4日死去。84歳。伊丹市。

大江敏文氏（おおえ・さとふみ＝昭49学経、元明石市立明石商業高校教諭）7月15日死去。62歳。神戸市。

三宅克也氏（みやけ・かつや＝昭28学法、税理士・三宅克也税理士事務所、元三重支部（現中勢支部）支部長、元校友会代議員）平成26年1月7日死去。83歳。津市。

中村圭一郎氏（なかむら・けいいちろう＝昭43学経）1月24日死去。67歳。大阪市。

鞍内国二氏（くらうち・くにじ＝昭26学2法・30M法、元校友会代議員）1月26日死去。85歳。大阪市。

城山俊治氏（しろやま・しゅんじ＝昭27学2法）2月18日死去。86歳。神戸市。

浦田　豊氏（うらた・ゆたか＝旧姓川尻、昭37学経、浦田ガスサービス取締役会長、元校友会代議員）2月27日死去。74歳。岸和田市。

柏尾昌哉氏（かしお・まさや＝元商学部教授・元阪南大学長、専攻は商業学）2月28日死去。92歳。京都市。

原田信義氏（はらだ・のぶよし＝昭36学法・38M法、互栄商事常勤監査役）3月2日死去。76歳。大阪市。

吉富二郎氏（よしとみ・にろう＝元一中・一高教諭、元法人評議員）3月3日死去。98歳。大阪市。

田中幸弘氏（たなか・ゆきひろ＝昭32学法、元校友会代議員）3月11日死去。81歳。御所市。

中島武志氏（なかしま・たけし＝昭28学商、中島木材亀徳港湾荷役運送取締役会長、元徳之島町議会議員、元鹿児島支部支部長、元校友会代議員）3月11日死去。86歳。徳之島町。

山路昌彦氏（やまじ・まさひこ＝昭38学文、元祖たこ昌取締役会長、前大阪狭山支部支部長、校友会代議員）3月14日死去。73歳。大阪狭山市。

廣政健一氏（ひろまさ・けんいち＝昭48学法、元（財）京都ライフクリエイト事業団勤務）3月17日死去。65歳。京都市。

川嶋昌保氏（かわしま・まさやす＝昭29学2法）3月18日死去。90歳。大阪市。

松中昭一氏（まつなか・しょういち＝元工学部教授、専門は農学）3月20日死去。86歳。神戸市。

田中　充氏（たなか・みつる＝昭31学経・33M経・36D経、名誉教授・元経済学部教授、専門は中小企業論）3月23日死去。80歳。奈良市。

吉岡正代氏（よしおか・まさよ＝旧姓吉村、昭43学文・47M文、校友会代議員）3月24日死去。68歳。柏原市。

安喜博彦氏（やすき・ひろひこ＝名誉教授・元経済学部教授、専門は産業組織論）3月28日死去。74歳。奈良市。

高垣修三氏（たかがき・しゅうぞう＝昭28学2法、元和歌山県教育長）4月5日死去。83歳。和歌山市。

オース！ごきげんさん。

連載44

大阪フィルと私

〈上〉

石井　博和

▲コントラバス協奏曲の演奏会（宇治市文化ホール）

コントラバス奏者への道

　一昨年、コントラバス（通称ベース）奏者として、41年余り在籍した大阪フィルハーモニー交響楽団を退団しました。これまでの演奏回数は、個人的なソロ、室内楽などのコンサートを含めますと、おそらく5千回以上になると思います。

　父親が、京都市交響楽団（通称・京響）の打楽器奏者だったこともあり、私も中学、高校時代は、ブラスバンドで打楽器をやっていました。

　関大入学後すぐ、ティンパニー奏者としてオーケストラ部に入りましたが、当時は打楽器にもベースパートにも上級生がおらず、楽器も余っていたので、何となくベースも弾きはじめ、やがて夢中になりました。

　2回生の終わり頃、レッスンを受けていた元京響・首席コントラバス奏者の西出昌弘先生から「まもなく京響のベースのオーディションがあるので受けなさい」と言われました。ベースを始めてまだ1年半、当然『絶対、無理です！』と断りましたが、この事がきっかけとなり、本気でプロのベース奏者を目指す決心が付きました。

　京響では、3回生の頃からエキストラとして使っていただき、楽員の皆さまにも可愛がってもらいましたが、京響のベースのオーディションは当分の間は無い、ということで、音楽以外の就職も考え、一応、国語の教員免許も取り、あれこれ思案していた矢先に、「大阪フィルで12月にベースの募集があるので、受けてみないか」との話があり、オーディションを受けて、大阪フィル入団が決まり、プロのベース奏者の第一歩が始まりました。

プロとしての厳しい洗礼

　入団は卒業後の4月からとしてもらい、卒論提出後のこの2ヶ月が一番暇かもしれないなと、のんびり過ごしていた2月はじめのある日、「今日は予定ないですね」『はい』「今すぐフェスティバルホールに来てください。ベースが一人急病でメンバーが足りません、曲はコレとコレとコレ…」『殆どの曲を、やったことがありませんが』「構いませんから、すぐ来てください」と、優しい声に隠された有無を言わせない口調。家にいたことを悔やみながらフェスに行きますと、リハーサルは始まっていて、奏者の前にマイクが並んでおり、ラジオのライブ放送を兼ねたコンサート。

　とりあえず、目立たないようにすることだけを心がけ、必死のパッチで本番が終了。

　『あ〜怖かった。プロって大変や』と思いながら、周りの人に『すいませんでした』と言うと、「オモロかったやろ」の一言。入団までの残りの2ヶ月が、一転して猛練習の日々になったことは言うまでもありません。

　そして、演奏後に言われた「オモロかったやろ」の一言の中に、何か優しさのようなものを感じ、『まあ、やって行けるかもしれないな』とも思い始めていました。

　日本の近代音楽の草分けでもある山田耕筰氏が、自身の作曲の関大学歌を歌っている肉声が残されていることが、最近、少し話題になりました。関大卒の私としては、大変嬉しいニュースでした。昔、朝比奈隆先生に、『関大の学歌は山田耕筰氏の作曲です』と誇らしげに語ったことを思い出します。

　次回は、大阪フィルが映画音楽の草分けであったこと、そして熟成された『ナニワのタレ』の味わいを持つ素晴らしいオーケストラであることなどお話ししたいと思います。

▲大阪シンフォニーホールで

石井　博和（いしい・ひろかず＝旧姓百田）

アンサンブル“バスフライト”代表、東弦楽器（オリエンテ）コントラバスアドバイザー、京都新祝祭管弦楽団・音楽アドバイザー。1971年文学部国文学科を卒業、大学のオーケストラでコントラバスを始め、西出昌弘氏（京響）に師事。在学中に、日本弦楽指導者協会主催の弦楽コンテストで弦楽協会賞を受賞。卒業と同時に大阪フィルハーモニー交響楽団に入団。在団41年を経て一昨年4月退団。1979年の初リサイタルでは、3曲のベースコンチェルトやバッハのシャコンヌなどを演奏。アンサンブル、創作活動も活発に行い、仲間と始めた年4回の「茨木マイホームサロンコンサート」は、ほぼ同じメンバーで36年以上続けている。

主な作品：ホームスイートホーム変奏曲（神戸楽譜より出版）、独奏コントラバスの為の荒城の月（同）、バッハの鳥小屋（畔内雅人ファゴットリサイテル委嘱作品）、全ての命にハッピーバースデイ（サロンコンサート30周年記念作品）他。

会と催し

掲載は、組織名、開催日時、場所（会費、連絡先・電話番号）の順。

▷**生駒支部総会**　10月18日（土）時間・場所未定（藤俊弘＝0743―79―5157）

▷**首都圏支部連合会総会（予定）**　10月25日（土）13：00　場所未定（関西大学東京センター＝03―3211―1670）

▷**大阪中央支部総会**　10月25日（土）18：00　シティプラザ大阪（伊藤晃充＝0743―71―2285）

【職域会ほか団体】

▷**第40回五七会総会**　5月25日（日）12：00　ホテルアウィーナ大阪（畑下公認会計士事務所＝06―6773―3871）

▷**グリークラブOB総会**　5月25日（日）12：00　校友・父母会館内校友会会議室（塔筋浩司＝090―1024―9066）

▷**体育会弓道部新弓道場完成祝賀会並びに創部62周年記念式典**　5月31日（土）12：00　100周年記念会館（弓道部主将・西川大樹）

▷**社会保険労務士関大会15周年記念総会・祝賀パーティ**　5月31日（土）14：00　大阪キャッスルホテル（第1部・総会、第2部研究発表「裁判例から学ぶハラスメント対策」社会保険労務士・沼田博子氏、第3部講演「フィギュアスケーター、濱田流育成術～宮原知子、本田太一の例から」アイススケート部コーチ・濱田美栄氏、第4部15周年記念式典、第5部祝賀パーティ。10,000円。同会未加入の方の出席も歓迎。山中社会保険労務士事務所・山中正利＝06―4793―0068、090―2112―1732）

▷**関大大阪倶楽部26年度春の総会**　6月7日（土）8：45　大阪・太融寺北側集合（姫路方面）（校友会事務局＝06―6368―0041）

▷**イエローサブマリンテニスクラブOB会総会**　6月7日（土）18：30　梅田・スーパー百番（潤井寛＝090―2117―8193）

▷**第17回3団体合同ゴルフコンペ**　6月11日（水）8：00　愛宕原ゴルフ倶楽部（応援団OB長柄会（Ⅱ部）事業部長・綿木真二＝090―3677―4666）

▷**大阪府学校秀麗会退職者会総会**　6月14日（土）18：00　百楽本店（6,000円。橋本友宏＝06―6768―2221）

▷**女子秀麗会総会**　6月15日（日）11：00　シティプラザ大阪（仁井ひろみ＝06―6922―6806）

▷**経済人クラブ第202回例会**　6月16日（月）18：00　大阪新阪急ホテル（講演講師　佐藤信夫氏＝浅田真央のコーチ。10,000円。校友会事務局＝06―6368―0041）

▷**第7回関関同立4大学OB写真展**　6月24日（火）～29日（日）10：00～18：00（最終日17：00）アクタ西宮東館6階・西宮市立北口ギャラリー第1展示室（片岡胤一＝072―632―5576）

▷**東京経済人倶楽部交歓会**　6月25日（水）18：00　パソナグループ本館8階（関西大学東京センター＝03―3211―1670）

▷**葦文会総会**　7月6日（日）12：00　大東洋（三電社内＝06―6452―2210）

▷**応援団OB・OG千成会（Ⅰ部）総会**　7月12日（土）16：00　100周年記念会館（坂上治＝090―8527―4270）

▷**司法書士関大会合格祝賀会**　7月12日（土）18：00　大阪キャッスルホテル（中村博司法書士事務所＝06―6705―5678）

▷**博修士会総会**　7月26日（土）14：00　校友・父母会館内校友会会議室（システム理工学部・緒方正則＝06―6368―1121）

▷**二九千里会卒業60周年記念式典**　9月24日（水）16：00　大阪キャッスルホテル（高橋一夫＝0797―86―8618）

▷**応援団OB長柄会（Ⅱ部）第70回総会**　10月11日（土）18：00　大阪新阪急ホテル（中村博司法書士事務所＝06―6705―5678）

▷**関大法曹会総会・司法試験合格者祝賀会**　10月15日（水）18：30　大阪新阪急ホテル（尾崎法律事務所＝06―6363―2870）

ご良縁　成婚率の高さが決め手

100%手づくりのお世話®

コンピューターを一切使わず、すべて手づくり100%の誠実なマンツーマンシステムです。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。ご成婚重視のため、他社との連携は一切いたしておりません。国公立大学・有名私立大学ご出身のご成婚者が大勢いらっしゃいます。

エムロードはここが違います

1 成婚率の高さ　無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり100%の行き届いたシステム。

2 質の高い会員層　国公立・有名私立大卒が中心。

3 同一アドバイザーによる一貫したお世話　ご入会からご成婚まで、同一のアドバイザーが担当。

4 自社会員のみの構成　成婚率の高さの維持とプライバシーの保護の為に他社との提携は一切なし。

5 格式あるお見合いパーティー　帝国ホテル・リッツカールトン等、一流ホテルでの会員様だけの集い。

6 安心の均一料金システム　どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視の安心料金システム。

お問い合わせセンター
営業時間／10:00～18:30
定休日／水曜日
0120-4122-46（よい ふうふ よろしく）

資料請求 無料
●ドクターズコース
●スタンダードコース
●シニアコース 有

株式会社エムロード Marriage Road®
携帯・WEBからも　エムロード 結婚　検索

大阪 NU茶屋町プラス最上階(3101)　神戸 神戸国際会館19F　京都 オフィス・ワン四条烏丸6F

会と催し

掲載は、組織名、開催日時、場所
（会費、連絡先・電話番号）の順。

【本部関係】

▷**第１０３回定時代議員会**　6月14日（土）13：00　100周年記念会館

▷**平成２６年度全国組織代表者会議**　7月5日（土）13：00　100周年記念会館

▷**天神祭船渡御奉拝船関大丸就航**　7月25日（金）17：00　大川

▷**関大寄席２０１４**　10月11日（土）10：00　天満天神繁昌亭

▷**平成２６年度校友総会**　10月19日（日）12：30　BIGホール100

▷**平成２７年校友会新年互礼会**　平成27年1月15日（木）18：00　大阪新阪急ホテル

▷**第１０４回定時代議員会**　3月28日（土）13：00　100周年記念会館

【地域支部】

▷**大阪狭山支部総会**　5月24日（土）17：00　SAYAKAホール（花﨑光輝＝072―366―6120）

▷**寝屋川支部総会**　5月24日（土）18：00　シティホテルニューコマンダー別館（8,000円。上田耕也＝072―824―2308 uesan5044@ybb.ne.jp）

▷**門真支部総会**　5月28日（水）18：30　日本料理・仙亭（西田一郎＝06―6901―1652）

▷**和泉支部総会**　6月7日（土）11：30　ホテルレイクアルスターアルザ泉大津（山本邦夫＝0725―57―2761）＊前号で連絡先を山本邦夫支部長とするところを、泉大津支部の連絡先を記載していました。お詫びし、訂正します。

▷**港支部再建総会**　6月7日（土）12：00　ホテルベイタワーオオサカ（木村良雄＝06―6572―6170）

▷**松原支部総会**　6月8日（日）11：00　ふるさとぴあプラザ（西田孝司＝072―336―1600）

▷**揖龍支部再建総会**　6月8日（日）15：00　ビジネスホテル&旅館 割烹森重（3,000円。山本雅俊＝0792―76―2816）

▷**住之江支部総会**　6月9日（月）18：30　道頓堀ホテル（南港さくら幼稚園気付＝06―6612―0335）

▷**豊能支部総会**　6月15日（日）11：30　妙見口・かめたに本店（小林宣博＝072―738―7473）

▷**神戸支部総会・懇親会**　6月20日（金）18：30　生田神社会館（10,000円。kandaikobe@gmail.com）

▷**名張支部総会**　6月21日（土）10：30　名張シティホテル（若山東男＝0595―65―3030）

▷**和歌山支部総会**　6月21日（土）11：00　場所未定（長谷川冷機・赤井雅哉＝073―436―2151）

▷**城東支部総会**　6月21日（土）18：00　大阪キャッスルホテル3階・錦城閣（近藤正昭＝06―6935―5545）

▷**北支部総会**　6月27日（金）18：00　ハービス大阪6階・ガーデンシティプラザ大阪（市田利夫司法書士事務所＝06―6375―1336）

▷**八尾支部総会**　6月28日（土）11：00　八尾市文化会館・プリズムホール（中尾達夫＝072―998―3526）

▷**富山県支部総会**　6月28日（土）16：00　南砺市（旧上平村）五箇山・合掌の里（高橋正＝080―3049―8273）

▷**堺支部総会**　6月28日（土）16：00　ホテル・アゴーラリージェンシー堺3階・利休（鍋島均＝072―284―1412）

▷**鶴見・都島支部合同総会**　6月28日（土）18：00　大阪キャッスルホテル3階・錦城閣（鶴見・みつばさ保育園・迫匡＝06―6961―7363、都島・香西安勝＝06―6922―4862）

▷**東大阪支部総会**　6月28日（土）18：30　ホテルアウィーナ大阪（岩﨑事務所＝072―966―0111）

▷**此花支部総会**　6月29日（日）10：30　ホテル阪神（山口土建・山口升啓＝06―6461―1049）

▷**京都支部総会**　7月5日（土）18：00　ホテルグランヴィア京都（壽見芳正＝0774―24―8008）

▷**河内長野支部総会**　7月6日（日）11：00　河内長野荘（かとう法律事務所・加藤安宏＝06―6311―2235）

▷**東淀川支部総会**　7月6日（日）17：00　場所未定（田中正紀＝06―6328―4162）

▷**富田林支部総会**　7月12日（土）10：30　富田林市民会館（野島努＝0721―23―3190）

▷**岡山支部総会**　7月12日（土）18：00　岡山全日空ホテル（ユアーズコンサルティング＝086―250―5592）

▷**石川県支部総会**　7月12日（土）18：00　金沢エクセルホテル東急（岡野茂＝0767―28―3508）

▷**香川支部総会**　7月19日（土）16：00　JRホテルクレメント高松（金星タクシー・川﨑有二＝087―821―7070）

▷**伊丹支部総会**　7月19日（土）17：00　伊丹長寿蔵（講演会「酒作りの歴史」あり。5,000円。ヒラク・加藤拓＝072―785―5507）

▷**北九州支部総会**　7月26日（土）時間・場所未定（西原正人＝093―771―5209）

▷**池田支部総会**　7月26日（土）18：00　池田市市民文化会館コンベンションホール（井上章＝072―753―5645）

▷**福岡千里会総会**　8月2日（土）18：30　ホテルセントラーザ博多（安藤造園土木・白木成光＝092―841―4141）

▷**ロサンゼルス千里会学生交流会（国際インターンシップ）**　8月6日（水）時間・場所未定

▷**茨木支部総会**　8月7日（木）18：30　ホテル阪急エキスポパーク（別處了一＝072―634―6613）

▷**台湾OB会総会**　8月16日（土）18：00　場所未定

▷**滋賀支部総会**　8月23日（土）16：00　琵琶湖ホテル（加田幸雄＝0749―22―5493）

▷**広島支部総会**　8月23日（土）18：00　宮島ホテルまこと（コスモシステム・重谷里志＝082―511―2161）

▷**大阪市内支部連合会第７回親睦ゴルフコンペ**　9月3日（水）８：00　ゴルフクラブ四条畷（田中義信法律事務所・田中義信＝06―6316―0348）

▷**尼崎支部７５周年記念総会**　9月13日（土）時間未定　都ホテルニューアルカイック（田中正喜＝06―6499―1948）

▷**吹田支部総会**　9月27日（土）14：00　メイシアター（奥谷英夫＝06―6836―6870）

▷**豊中支部第３０回記念総会**　9月27日（土）17：00　千里阪急ホテル（横畠正秀＝06―6331―2275）

▷**川西支部６０周年記念総会**　10月4日（土）時間未定　川西市文化会館大集会室（荒木敏雄＝072―758―1787）

▷**関関同立４大学交流会in静岡２０１４**　10月4日（土）15：00　場所未定（山口健一＝054―245―2854）

▷**西宮支部８０周年記念総会**　10月4日（土）17：30　ノボテル甲子園（栄興電機工業・小坂圭一＝06―6491―5301）

▷**宝塚支部総会**　10月11日（土）18：00　宝塚ホテル（塚本壽一＝0797―85―1491）

關大
第五八一号
平成二十六年五月十五日発行（奇数月十五日発行）
昭和三十年八月六日第三種郵便物認可
発行人　校友会長　寺内俊太郎
発行所　関西大学校友会　〒五六四・八六八〇　吹田市山手町三丁目三番三十五号　電話〇六（六三六八）一一二一（代）　振替口座　00930・2・5594
定価一〇〇円（送料別）

竹中工務店

守る、
創る、
思いやる
ビルへ。

野坂徹夫：画

災害から人々の暮らしを守る。
エネルギーを創り、分けあう。
都市を、そして地球を思いやる。
これからのビルはこうじゃないとね。

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

Printed in Japan 2014　印刷/東洋紙業高速印刷株式会社
VEGETABLE OIL INK